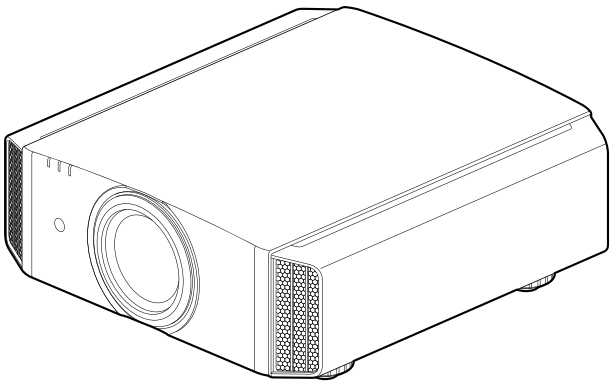
JVC

取扱説明書

D-ILA
ホームシアタープロジェクター

型名 **DLA-X95R**
DLA-X75R
DLA-X55R



D-ILA®
HDMI®
HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

ユーザー登録
のおすすめ

お買い上げいただきました製品について「ユーザー登録」をお願いいたします。
ご登録いただきますと、製品のサポート情報、JVCケンウッド製品の情報やイベント情報の提供サービスなどをご利用いただけます。
また、今後のよりよい製品開発のためのアンケートにもご協力をお願いいたします。

● **下記のホームページアドレスより、ご登録ください。**
www3.jvckenwood.com/reg

お買い上げありがとうございます。
ご使用の前に、この「取扱説明書」をお読みのうえ、正しくお使いください。
特に「安全上のご注意」（4 ～ 7 ページ）は必ずお読みいただき、安全にお使いください。
お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときお読みください。

D-ILA® は、株式会社 JVC ケンウッドの登録商標です。

PC023482599

もくじ

はじめに
付属品･別売品 3
付属品を確認しましょう 3
別売品 3
安全上のご注意 4
本機の特長 8
各部のなまえとはたらき 10
本体 - 前面 10
本体 - 底面 10
本体 - 背面 11
本体 - 入力端子 12
リモコン 13
リモコンへの電池の入れかた 14
リモコンの操作範囲 14

準備
設置する 15
設置するときのご注意 15
固定するときのご注意 16
位置調整のしかた 17
接続する 18
HDMI 入力端子とつなぐ(デジタル入力) 18
コンポーネント映像入力端子とつなぐ(アナログ入力) 19
PC 入力端子とつなぐ X95R X75R 19
LAN 端子とつなぐ 20
RS-232C 端子とつなぐ 20
REMOTE 端子とつなぐ 20
TRIGGER 端子とつなぐ 21
電源コード(付属品)をつなぐ 21

操作
映像をみる 22
投写画面を調整する 24
投写箇所に合わせてレンズを調整する 24
調整内容を保存･呼び出す 25
視聴環境に合った画質を自動調整する 27
スクリーン補正を設定する 28
画面サイズ(アスペクト)を調整する 29
3D 映像を楽しむ 30
3D シンクロエミッターを設置する 30
3D 映像を見る 31
2D 映像を 3D 映像に変換して見る 31
3D 映像の調整をする 32

調整･設定
映像作品の種類に合わせ画質を選ぶ 33
画質モードを設定する 33
カラープロファイルを設定する 34
より表現豊かな映像に調整する(Multiple Pixel Control) 36
画質を詳細調整する 37
投写される映像の出力値を調整する(ガンマ) .. 37
お好みでガンマ調整する(カスタムガンマ) 39
明るい部分や暗い部分を補正する(暗部/明部補正) .. 40
お好みの色に調整する(カラーマネージメント) ... 41
動きの早い映像の残像を低減する(Clear Motion Drive(C.M.D.)) 42
メニューで行う調整と設定 43
メニュー項目一覧 43
画質調整 45
入力信号 49
設置 51
表示設定 57
機能 58
情報 60

お手入れ
ランプ交換のしかた 61
ランプ交換の手順 61
ランプ使用時間をリセットする 63
キャビネット､リモコンのお手入れ 63
フィルターの掃除と交換のしかた 64

困ったときは
故障かな？と思ったら 65
こんな表示がされたら 67
保証とアフターサービス 68
サービス窓口のご案内 69

その他
外部制御 70
RS-232C 仕様 70
TCP/IP 接続 70
コマンドフォーマット 71
リモコンコード 72
通信例 73
主な仕様 74
索引 82

本書で使用するマークについて

X95R は､DLA-X95R に対応します。

X75R は､DLA-X75R に対応します。

X55R は､DLA-X55R に対応します。

マーク記載のない項目は､全機種に対応します。

付属品･別売品

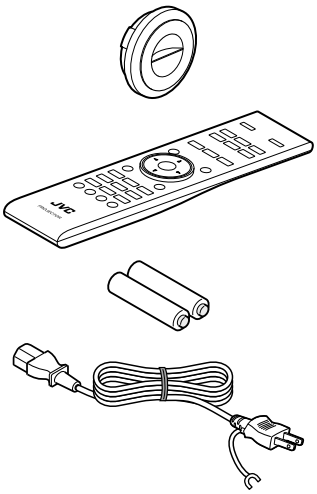
付属品を確認しましょう

レンズカバー X55R ..... 1 個
※ 出荷時は本体に取り付けてあります。

リモコン ..... 1 個

単 4 形乾電池（動作確認用） ..... 2 個

電源コード（約 2 m） ..... 1 個



- そのほかに取扱説明書（本書）、保証書、その他印刷物が入っています。

別売品

- 交換ランプ：型名 PK-L2312U
- 3D メガネ：型名 PK-AG2、PK-AG3
- 3D シンクロエミッター：型名 PK-EM1、PK-EM2

3D シンクロエミッターと 3D メガネの対応表

		3D メガネ		
		PK-AG1 ※（通信方式：IR（赤外線））	PK-AG2（通信方式：IR（赤外線））	PK-AG3（通信方式：RF（電波））
3D シンクロエミッター	PK-EM1（通信方式：IR（赤外線））	○	○	—
	PK-EM2（通信方式：RF（電波））	—	—	○

※ 生産終了品
詳しくは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

安全上のご注意

ご使用になる方や他の人々への危害や損害を防ぐために、必ず守っていただきたいことを説明しています。

⚠警告「人が死亡、または重傷を負うことが想定される」内容

⚠注意「人が傷害を負ったり、物的損害が想定される」内容

絵表示についての説明

注意、警告が必要なこと：一般的注意／感電注意／高温注意

禁止されていること：禁止／分解禁止／ぬれ手禁止／水場での使用禁止

実行して欲しいこと：電源プラグを抜く／アース線をつなぐ

⚠警告

異常な状態でそのまま使用しない

万一異常が発生したときは

- 煙が出ている、異臭がする
- 内部に水や物が入った
- 落下などにより破損した
- 電源コードが痛んだ
- ランプが破裂した
- ファンが動かない

電源スイッチを切る
電源プラグをコンセントから抜く

そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。
販売店に修理を依頼してください。

次のようなことはしない

電源プラグ、コード

・コードやプラグに傷がつくと火災や感電の原因となります。
・誤った使用をするとショートや発熱などにより火災や感電の原因となります。

禁止	• 電源コードは付属品以外を使用しない • 電源コードやプラグを傷つけない • 電源プラグはコードの部分を持って抜かない • 付属の電源コードを他の機器で使用しない • 電源プラグは根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントには接続しない • 電源プラグやコンセントにほこりや金属が付着したまま使用しない 半年に一度は、プラグを抜いて乾いた布で拭いてください。 • 表示された電源電圧以外では使用しない
ぬれ手禁止	• ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない
感電注意	• 雷がなったら電源プラグをさわらない
一般的注意	• 電源プラグはコンセントの根元まで確実に差し込む • 電源プラグは抜き差ししやすいコンセントに差し込む • 電源コードはこの機器につないでからコンセントにつなぐ

分解・改造をしない		機器の上に水の入った物を置かない	
分解禁止	内部に高電圧の部分があり、火災や感電の原因となります。	禁止	機器の内部に水が入ると、火災や感電の原因となります。
投写レンズをのぞかない		**内部に物や可燃性ガスなどをいれない**	
禁止	強い光が目にあたると視力障害の原因となります。	禁止	機器の内部に物や可燃性のガスなどが入ると、火災や感電の原因となります。
途中でランプ使用時間をリセットしない		**使用した直後にランプを交換しない**	
禁止	寿命を超えて使用すると破裂して火災やけがの原因となります。	禁止	ランプが高温になっているため、やけどの原因となります。 1時間以上時間をおいてください。
梱包に使用したポリ袋などは、小さなお子様の手の届くところに置かない			
禁止	頭からかぶると窒息の原因となります。		

次の場所には設置しない

設置全般

・誤った場所に設置し使用すると、爆発や火災、感電の原因となります。

禁止

- **引火、爆発のおそれのある場所では使用しない**
- **湿気やほこり、湯気、油煙のあたる場所に設置しない**
- **熱源の近くには置かない**
  機器の変形、劣化のほか火災の原因にもなります。
- **通気口をふさがない**
  絨毯や布団などの上やクロスなどをかけて使用すると内部に熱がこもって火災の原因となります。
  ランプが冷却されず、破損してけがの原因となります。
- **通気口にエアコンなどの風を直接あてない**
  内部に熱がこもって、火災の原因となります。
- **不安定な場所や荷重に耐えられない場所に置かない**
  落下や転倒などから、怪我の原因となります。
  また本機は縦置きでの設置は不可です。

水場での使用禁止

- **風呂場など水のある場所では使用しない**

一般的注意

- **キャスター付の台に乗せるときはキャスターを固定する**
  動いたり、倒れたりしてけがの原因となります。

天吊り

禁止

- **専門の知識や技術のないかたは設置工事をしない**
  設置工事は必ず販売店にご依頼ください。
- **振動する場所への天吊り設置はしない**
  振動により取付部分が破損し、落ちたりしてけがの原因となります。
- **ぶらさがったり、ゆすったり、物をひっかけたりしない**
  過度の荷重がかかると、落ちたりしてけがの原因となります。

一般的注意

- **本機を天井に固定するときは**
  当社以外の天吊り金具ならびに天吊り金具設置環境の不具合による製品の損傷などについては保証期間中であっても当社は責任を負いかねますのでご注意ください。
  天井に吊り下げて使用するときは、本機周辺の温度には気をつけてください。
  暖房を使用した場合、天井付近は予想以上に高温になります。

⚠注意

次のようなことはしない

健康のため30～60分ごとに5～15分の休憩をとり、目を休めてください

一般的注意	特に3D映像鑑賞中に疲労、不快感等、異常を感じたら使用を中止してください。 2重に映像が見えたら、表示機器やソフトを適切に調整してください。 調整しても見えるようでしたら使用を中止してください

ランプに衝撃を加えたり、傷つけたりしない

禁止	ランプが破裂してけがをする原因となります

新しいランプのガラス面に触らない

禁止	ランプの寿命が短くなったり、ランプが破裂したりしてけがの原因となります。

機器の上に重い物をのせたり、乗ったりしない

禁止	けがの原因や、変形して火災や感電の原因となります。

投写レンズに触らない

禁止	お手入れには専門の技術が必要です。 お手入れを行う際は必ず販売店にご確認ください。

高温部には触れない

高温注意	投写中は排気口やその周辺部には触れないでください。 やけどの原因となります。

長時間使用しないときは電源プラグを抜く

電源プラグを抜く	電源が切れても機器に電気が流れています。安全、節電のために電源プラグを抜いてください。

ランプ交換やお手入れをするときは電源プラグを抜く

電源プラグを抜く	安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。 感電の原因となります。

移動するときは電源プラグや接続コード類をはずす

電源プラグを抜く	コード類を傷つけると、火災や感電の原因となります。

アース線を接続する

アース線をつなぐ	アース線を接続しないと感電の原因となります。

その他

3年に一度は内部点検をしてください

一般的注意	本機には機能を維持するために交換が必要となる部品(冷却ファンなど)が含まれています。 部品交換の目安は使用する頻度や環境によって大きく変わります。 交換につきましては、お買い上げの販売店、またはお近くのサービス窓口にご相談ください。

電波障害について

一般的注意	この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報装置です。 この装置は家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に接近して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

固定して使用するとき

一般的注意

- 地震など、非常時の安全確保と事故防止のため、転倒・落下防止の処置をしてください。
- 本機を台や天井に固定するときは、底面のフット4個をはずし、それらのネジ穴(M5ネジ)4か所すべてを使用して固定してください。
- ネジ穴の深さ(ネジの長さ)は、23 mmです。取り付け部分のネジは、長さ 23 mm以下、13 mm以上のネジをお使いください。指定以外のネジを使用した場合は、故障や本機の 落下などの原因になります。
- 台に固定する場合、吸気口をふさが ないように吸気口周辺に十分なスペ ース(フットの高さ10 mm以上)を確保してください。
- 本機を左右 ±5° 以上傾けてお使いになることは避けてください。

3D映像を鑑賞する時

一般的注意

- 投写映像サイズの高さの３倍の距離から観賞してください。
- 光過敏の既住症のある人や、心臓に疾患のある人、体調不良の人は3Dメガネを使用しないでください。
- 3D映像を視聴中、体調不良が引き起こされることがあります。体調に変化を感じた場合はすぐに視聴を中止し、必要に応じて医師に相談ください。
- 3D映像を視聴中は、定期的に休憩をとることを推奨します。休憩に必要な長さや頻度は個人差がありますので、ご自身で判断ください。
- お子様が3Dメガネで視聴する場合は、必ず保護者が同伴してください。お子様 が視聴の場合は、疲労や不快感などに対する反応がわかりにくいため、急に体調が悪くなることがありますので、保護者の方が目の疲れがないか、ご注意ください。特に６歳未満のお子様に3D映像については視覚が発達段階にあるため、必要に応じて医師に相談ください。
- 3Dの機能を使うと機器側での画像変換によりオリジナルの映像と見え方に差が出ます。ご留意の上、お使いください。

使用上のご注意

一般的注意

素子に画像が焼き付くことがあります

- 主にビデオゲームやコンピュータープログラム画面など高輝度・高コントラスト画面を持つ静止映像などを長い時間映さないでください。通常のビデオ再生映像などの動画では問題ありません。

長時間使用しないと、機能に 支障をきたすことがあります

- ときどき電源を入れて動作させてください。

たばこを吸う部屋での使用は 避けてください

- 光学系部品にヤニの汚れが付くと、取り除く事はできません。性能劣化の原因となります。

乾電池の使い方

禁止

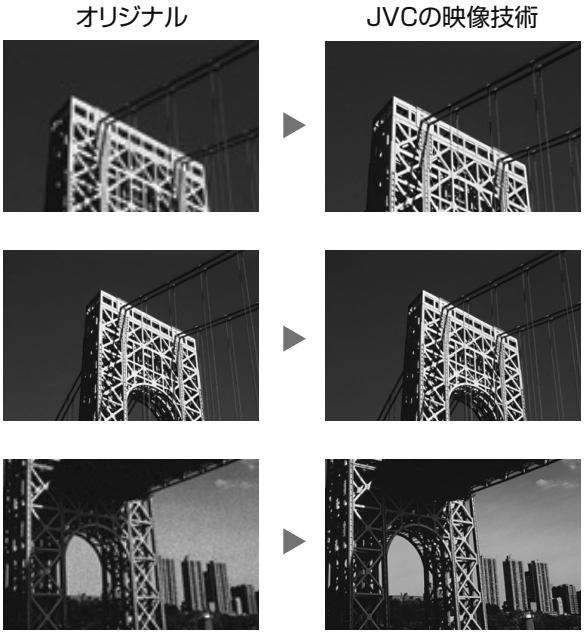
- プラス(+)とマイナス(ー)のまちがい
- 違う種類や一度使用した電池を混ぜる
- 電極のショート
- 加熱、分解および水中もしくは火中へ入れる
- 充電する

誤った使いかたをすると、液漏れ、発熱、発火、破裂などでけが、火災の原因となります。
長時間使用しないときは、電池を取り出しておいてください。万一、液漏れしたら、電池ケースに付いた液をよく拭き取ってください。液が身体、衣服などに付いたときは、水でよく洗い流してください。
電池を廃棄するときは、お住まいの自治体の指示に従ってください。

本機の特長

フルハイビジョンを超えた高精細な 4K 表示

新たに e-shift2 デバイスを搭載した光学エンジンにより、4K 解像度表示を実現。
JVC 独自の新開発画像処理アルゴリズムにより、より表現豊かな 4K 映像を楽しめます。(p. 36)



写真はイメージです。

臨場感あふれる 3D 映像表現

3D 機能により、よりリアルで臨場感あふれる 3D 映像が楽しめます。(p. 30)
2D-3D 変換機能により、TV 放送や家庭用ビデオカメラなどで撮影された 2D 映像を 3D 映像に変換して楽しめます。(p. 31)

写真はイメージです。

視聴環境に応じた最適な画質調整

白い壁のリビングなどで視聴される場合にも映像への被り光を考慮し、最適な映像が楽しめます。(p. 27)

- X95R X75R をご使用の場合は、オプションの光学センサーと専用ソフトウェアを使用することでより細かい調整が可能です。
  詳しくは、当社ホームページをご覧ください。
  http://www3.jvckenwood.com/projector/support/index.html

フレキシブルな設置性

電動 2 倍ズーム&フォーカスに加え、広範囲なレンズシフト機能により設置の自由度が広がります。(p. 24)

フォーカス、ズーム、シフトの調整内容を保存、または呼び出しできるレンズメモリー機能により、多彩な映像サイズフォーマットに簡単に対応できます。

こだわりの画質調整機能

映像の種類やお好みに合わせて最適な画質で映像を楽しめます。(p. 33)

リアルカラー・イメージング・テクノロジー(JVC 独自の色再現技術)により、オリジナルにより近い画質に調整ができます。(p. 34)

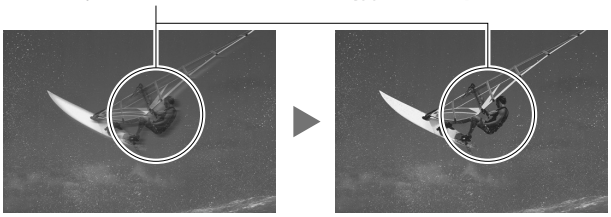
写真はイメージです。

残像感の少ないクリアな映像表現(C.M.D.)

JVC 独自の高精細画像補間技術により、スポーツなどの動きの早い映像も鮮明に楽しめます。(p. 42)

※ C.M.D.とは、Clear Motion Drive の略称です。

ブレが少ないので、ディテールの描写も鮮明

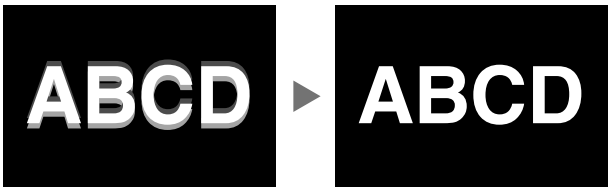


写真はイメージです。

高精度な画素調整機能

高精度な「画素調整機能」により画面全域において色ずれの少ないクリアな映像が楽しめます。
(p. 52)

※ 機種により、調整可能な精度が異なります。



調整前　　調整後

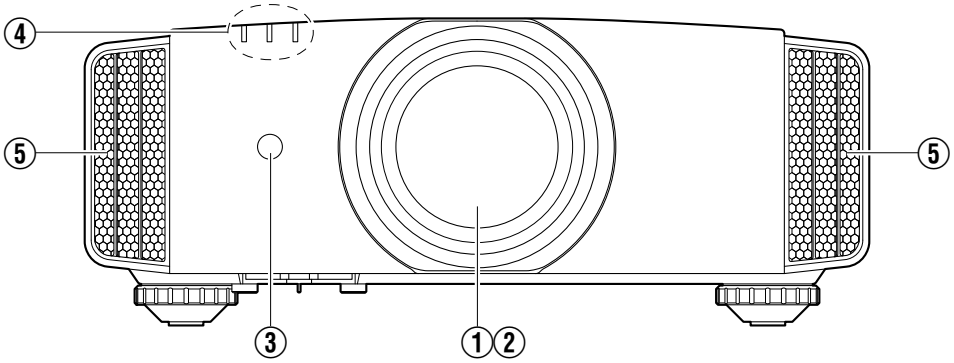
写真はイメージです。

THX 認証　X95R X75R

X95R X75R は、THX 社が定める「THX 3D ディスプレイ規格」を取得しました。
2D のみならず 3D 再生時においても、「映画監督の意図する映像」を忠実に再現し楽しめます。
THX 3D 認証は、400 以上の画質テストをクリアした「高品位、高画質の証」です。

各部のなまえとはたらき

本体 - 前面



① レンズ

投写レンズです。
投写中は覗き込まないでください。

② スライドカバー X95R X75R

電源のオン/オフに連動して開閉します。(p. 51)

- X55R の場合、お使いにならないときはレンズカバーを取り付けてください。

③ リモコン受光部(前面)

リモコンで操作するときは、リモコンをここに向けて操作します。

※ 受光部は背面にもあります。

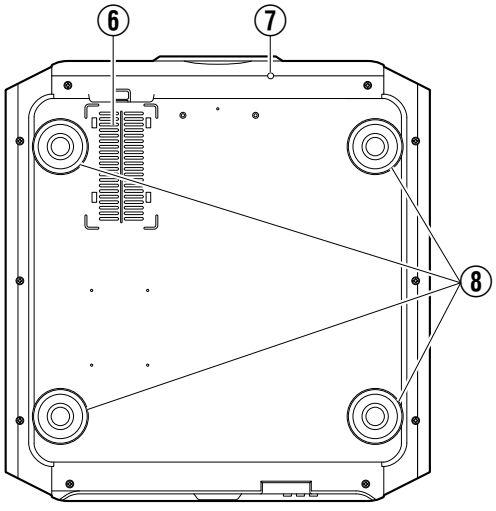
④ インジケーター

詳細は「本体インジケーターの表示について」(p. 79)をご覧ください。

⑤ 排気口

本機内部を冷却するために温風が出ています。
排気口は塞がないでください。

本体 - 底面



⑥ 吸気口(底面・背面の 3 箇所)

本機内部を冷却するために空気を取り込んでいます。
塞いだり、温風を吹き付けたりしないようにしてくだい。故障の原因となります。

※ 背面の左右にも、吸気口が 2 箇所あります。

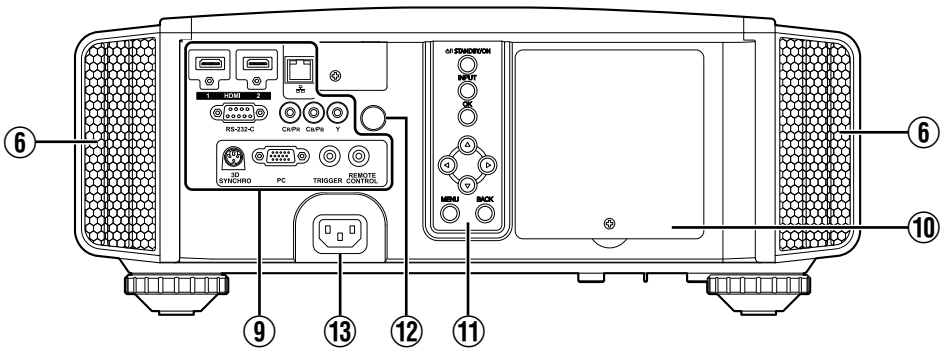
⑦ スライドカバー手動ボタン X95R X75R

押した状態で、スライドカバーを開けることができます。
メンテンス用ですので普段のご使用では必要ありません。緊急でご使用になりたいときにお使いください。

⑧ フット

回すと、高さと傾斜を調整できます。(0〜5 mm)(p. 17)
フットを取り外すと、天吊り金具の取り付け穴になります。

本体 - 背面



⑨ 入力端子

映像の入力端子以外に制御･オプション機器などの接続端子もあります。図は X95R X75R です。

端子の詳細や X55R については「本体 - 入力端子」p. 12 をご覧ください。

⑩ ランプカバー

光源ランプを交換するときは、このカバーを外します。

⑪ 操作パネル

詳しくは下図「操作パネル」をご覧ください。

⑫ リモコン受光部(背面)

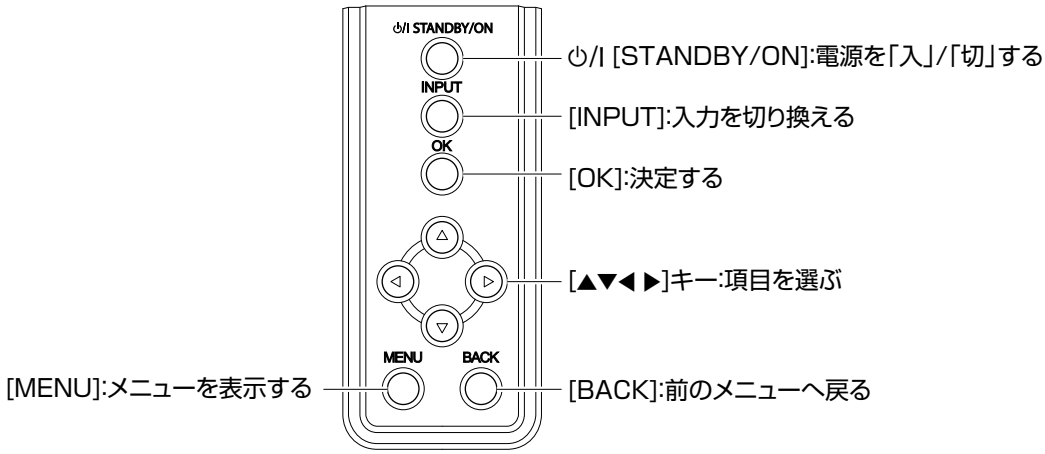
リモコンで操作するときは、リモコンをここに向けて操作します。

※ 受光部は前面にもあります。

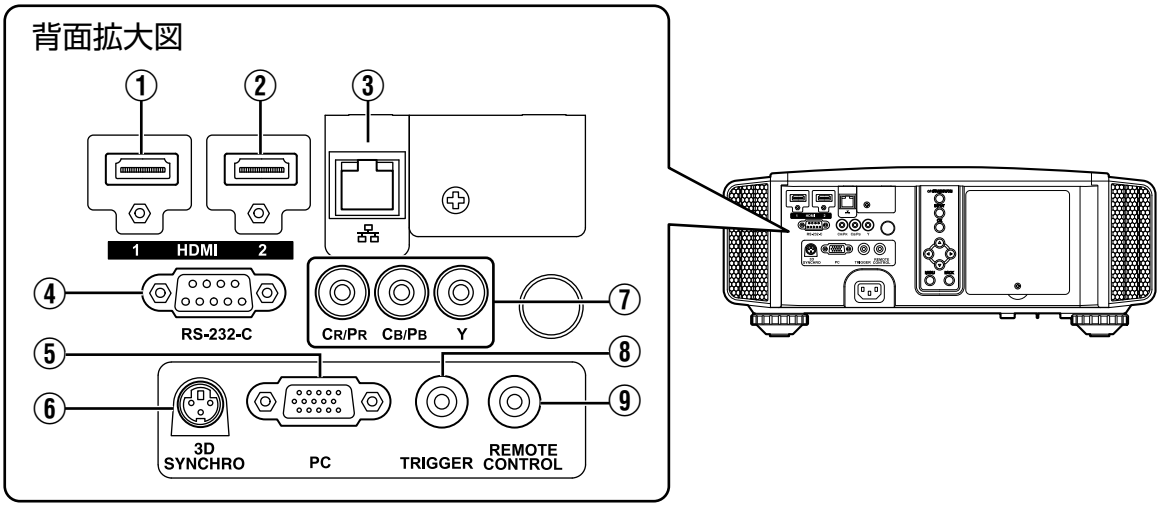
⑬ 電源入力端子

付属の電源コードを接続します。

操作パネル



本体 - 入力端子



① [HDMI 1]入力端子

② [HDMI 2]入力端子

HDMI 出力のできる機器などと接続できます。(p. 18)

M 3のロック穴付きです。ネジ穴の深さ 3 mm。

③ [LAN]端子(RJ-45)

コンピューターネットワークを経由して、外部のパーソナルコンピューターと接続し、制御コマンドを送ることで本機をコントロールできます。

④ [RS-232C]端子(D-Sub 9 ピン オス)

外部のパーソナルコンピューターと接続して、本機をコントロールできます。

※ LAN 端子と RS-232C 端子は、同時に使用することはできません。(p. 58)

⑤ [PC]入力端子(D-Sub 15 ピン)

X95R X75R

パーソナルコンピューター(パソコン)信号専用(RGBの映像信号と同期信号)の入力端子です。
パソコンのディスプレイ出力端子などと接続します。

⑥ [3D SYNCHRO]端子

別売の 3D シンクロエミッターを接続して、3D 映像を鑑賞するときに使用します。

⑦ コンポーネント映像入力端子(RCA×3)

コンポーネント信号出力のできる機器などと接続できます。
アナログ RGB(G on Sync)信号、コンポーネント(Y、Cb、Cr)信号、DTV フォーマット(Y、Pb、Pr)信号の入力端子として使用します。

⑧ [TRIGGER]端子(⊖-C-⊕)

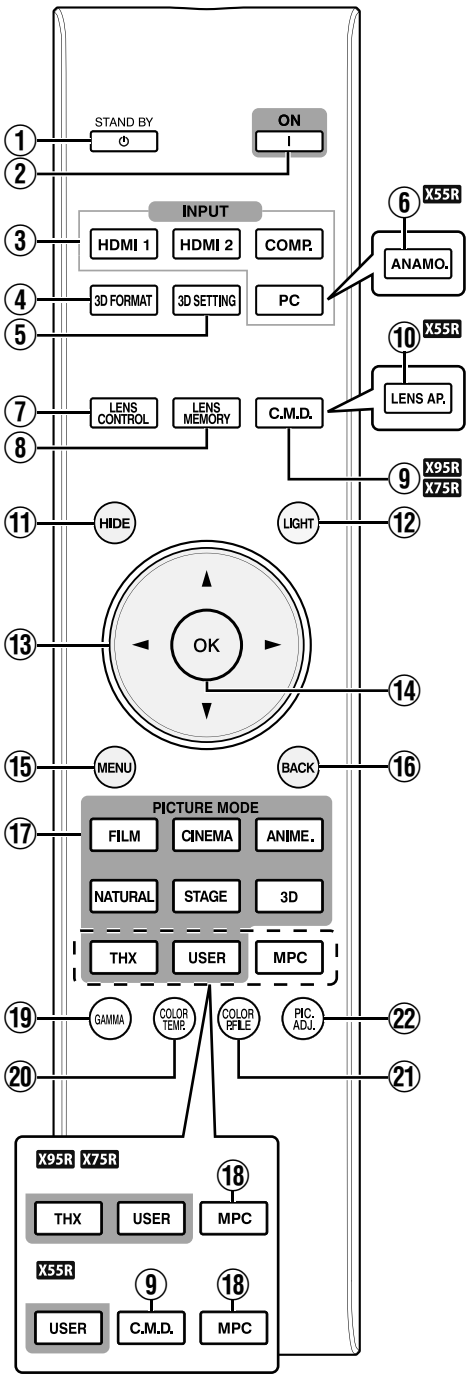
DC 12 V、100 mA の DC 電源出力端子で、SCREEN TRIGGER 対応の昇降式スクリーンなどを制御するための信号を出力します。

接続を誤ると、機器破損の原因となりますのでご注意ください。(Tip = DC +12 V, Sleeve = GND)

⑨ [REMOTE]端子(ステレオミニジャック)

専用ボックスやリア投写による本体の設置などでリモコンが使用できない場合に使用します。
別に用意した外部受光部と本体を接続します。
外部赤外線受光部、および接続ケーブルについては、お買い上げの販売店へお問い合わせください。

リモコン



① ⏻ [STAND BY]
電源を切ります。(p. 23)

② | [ON]
電源を入れます。(p. 22)

③ [INPUT]
入力を[HDMI 1]、[HDMI 2]、[COMP.]、[PC](X95R X75R のみ)から選びます。(p. 22)

④ [3D FORMAT]
3D フォーマットを切り換えます。(p. 31)

⑤ [3D SETTING]
3D 設定メニューを表示します。(p. 31)

⑥ [ANAMO.] X55R
アナモフィックモードを切り換えます。(p. 53)

⑦ [LENS CONTROL]
フォーカス、ズーム、シフトを調整します。(p. 24)

⑧ [LENS MEMORY]
レンズメモリーの保存、呼出、編集を切り換えます。(p. 25)

⑨ [C.M.D.]
フレーム補間を設定します。(p. 42)

⑩ [LENS AP.] X55R
レンズアパーチャーを設定します。(p. 48)

⑪ [HIDE]
映像を一時的に消します。(p. 22)

⑫ [LIGHT]
リモコンのボタンを点灯します。

⑬ [▲▼◀▶]キー
項目を選びます。

⑭ [OK]
項目を決定します。

⑮ [MENU]
メニューを表示します。
表示中に押すと、メニューが消えます。

⑯ [BACK]
前のメニューへ戻ります。

⑰ [PICTURE MODE]
画質モードを[FILM]、[CINEMA]、[ANIME]、[NATURAL]、[STAGE]、[3D]、[THX](X95R X75R のみ)、[USER]に切り換えます。(p. 33)

⑱ [MPC] X95R X75R
MPC レベルを設定します。(p. 36)

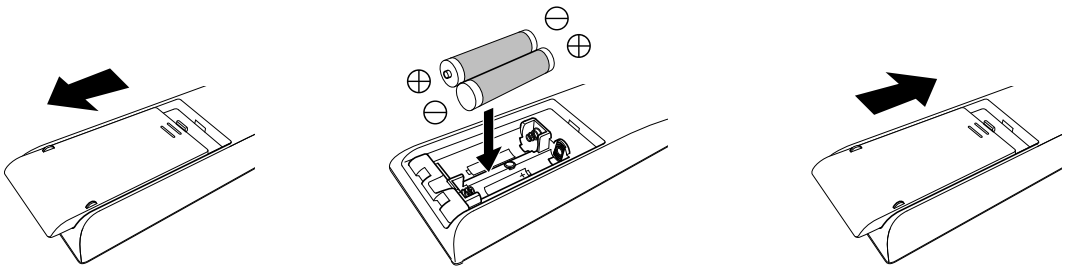
⑲ [GAMMA]
ガンマを設定します。(p. 37)

⑳ [COLOR TEMP]
色温度を設定します。(p. 45)

㉑ [COLOR P.FILE]
カラープロファイルを切り換えます。(p. 34)

㉒ [PIC. ADJ.]
コントラストや明るさなどの画質調整項目を切り換えます。(p. 46)

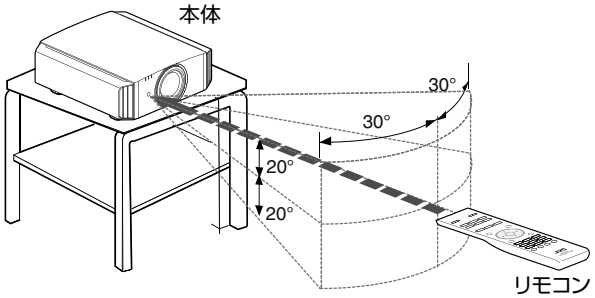
リモコンへの電池の入れかた



- リモコンの操作できる距離が短くなってきたら、乾電池が消耗しています。新しい電池(単 4 形)に交換してください。
- ⊕⊖の向きを表示どおり正しく入れてください。乾電池を入れるときは ⊖ 側から入れてください。
- リモコン使用中に不具合が生じたときは、一度乾電池を取り出し、5 分以上経ってからもう一度乾電池を入れて操作してください。

リモコンの操作範囲

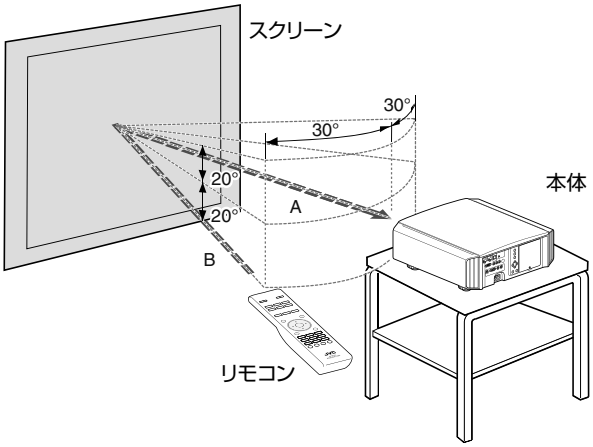
リモコン受光部(前面・背面)に対して 7 m 以内でお使いください。
操作できないときは、近づけてください。



スクリーンなどに反射させて使う場合

本体とスクリーンの距離 A とリモコンとスクリーンの距離 B の合計が 7 m 以内になるようにしてください。

※ ご使用になるスクリーンの種類によって、リモコン信号の反射する効率が異なるため、操作できる距離が短くなることがあります。



注意

- 直射日光の当たるところや高温になるところにリモコンを置かないでください。

設置する

設置するときのご注意

本機を設置するときは、次のことをよくお読みいただき設置してください。

次のような場所で使わない

本機は精密機器ですので、次のような場所での設置や使用はおやめください。火災や故障の原因となることがあります。

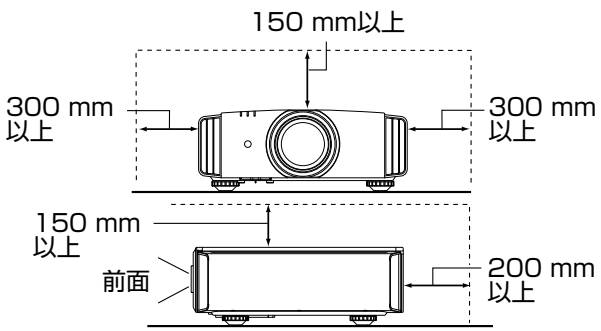
- 水や湿気、ほこりの多いところ
- 油煙やたばこの煙のあたるところ
- じゅうたんや布団などの柔らかいものの上
- 直射日光があたるところ
- 高温・低温のところ
- 煙草の煙や油気がある部屋に設置しない。微量の煙や油気でも長い間に影響があります。

※ 本機は放熱のため、大量の吸気により光学部の冷却を行っています。上記のような場所でのご使用は、光路に汚れが付着し映像が暗くなる、発色が悪化するなどの原因にもなります。

※ 光学部品に付着した汚れは、除去することができません。

壁などから間隔をあける

放熱をよくするため、周囲は下図のように十分なスペースを空けて設置してください。



前面は開放してください。
前面に遮蔽物があると排気口からの熱風が逆流して本体を加熱したり、排気の熱い空気による影がスクリーン上に映る（陽炎現象）ことがあります。

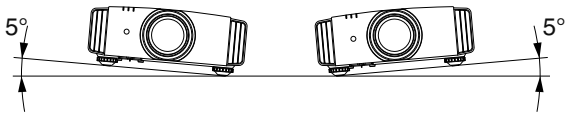
お使いになるとき

本機は高温になる光源ランプを使用しています。
ご使用になるときは、次のような投写はおやめください。火災や故障の原因となることがあります。

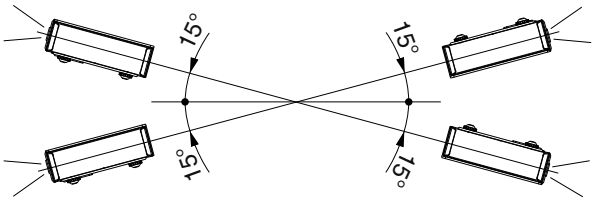
- 立てて投写しない

- 傾けて投写しない

左右方向：±5°以内



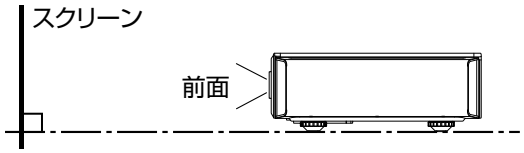
上下方向：±15°以内



- 上記以外の角度の設置は故障の原因となります。

スクリーンの設置

本機とスクリーンは垂直になるように設置してください。



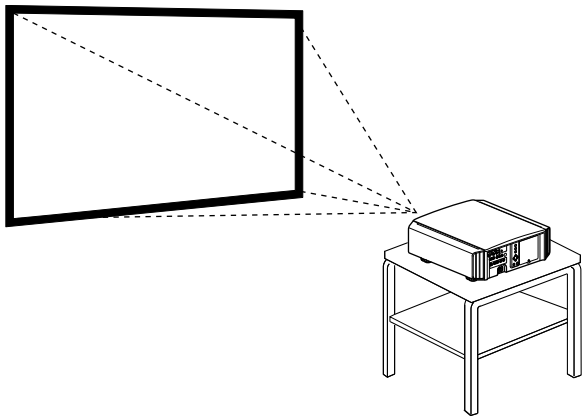
- スクリーンは生地が不均一のものをお選びください。格子縞のように均一なものの場合、干渉縞を発生させることがあります。
- 干渉縞が発生した場合、画面の大きさを変えて、目立たないようにする方法があります。

高地でお使いになるときに

標高の高い（気圧の低い）場所（海抜 900 m 以上）で使用するときは、「高地モード」機能を「オン」にしてください。（p. 58）

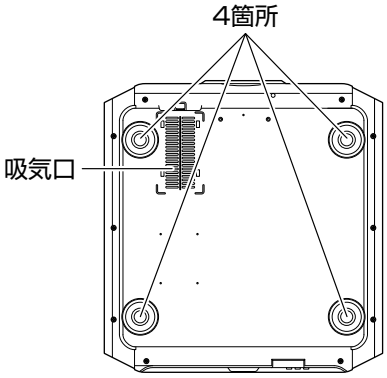
固定するときのご注意

固定するとき(据置き)



- 据置きで使用する場合は、本機が水平になるよう設置してください。
- 地震が発生したときなどの事故防止のために必ず本体を固定してください。

ネジでの固定方法

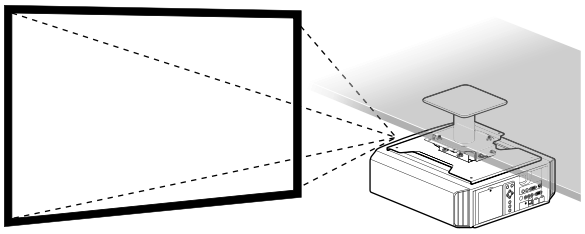


底面のフット 4 個をはずし、ネジ(M5 ネジ 13〜23 mm)で止める。

※ 指定以外のネジを使用した場合、故障の原因になります。

※ 吸気のために本機底面は、10 mm 以上スペースを空けて設置してください。

固定するとき(天吊り)

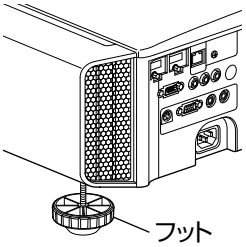


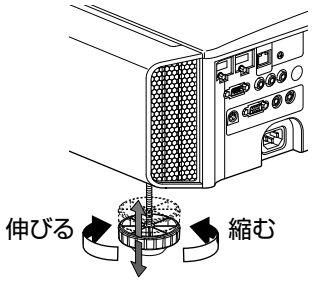
- 設置工事は専門の知識や技術が必要です。必ず販売店、専門業者にご依頼ください。
- 地震が発生したときなどの事故防止に必ず落下防止の処置をしてください。
- 当社以外の天吊り金具ならびに天吊り設置環境の不具合による製品の損傷などについては、保証期間中であっても当社は責任を負いかねますのでご注意ください。
- 天井に吊り下げて使用するときは、本機周辺の温度に気をつけてください。暖房を使用した場合、天井付近は予想以上に高温になりますのでご注意ください。

位置調整のしかた

本機の傾きを調節する(上下角の調整のしかた)

フットを回すと、本機の高さと傾斜(0〜5 mm)を調整できます。
本機を持ち上げて、4 つのフットで調整します。



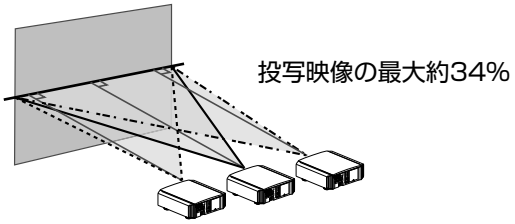


映像の位置を調節する

本機はレンズシフト機能を使って、映像を上下·左右に動かす事ができます。お好みのポジションに調節してください。

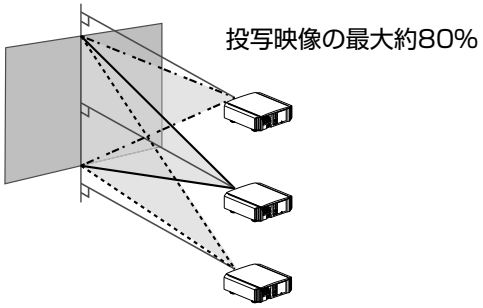
■ 左右の位置

上下の位置は0%(中央)

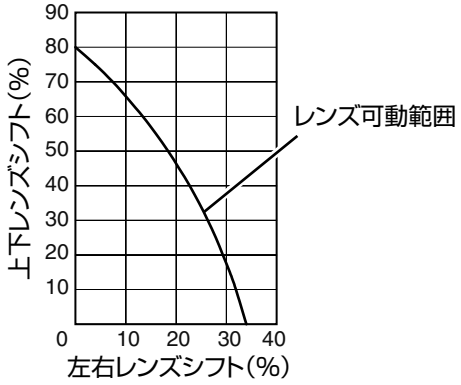


■ 上下の位置

左右の位置は0%(中央)



■ レンズシフトの移動範囲



- 左右のシフト量により、上下の最大シフト量が変わります。また、上下のシフト量により、左右の最大シフト量が変わります。
- グラフ中の数値はあくまでも目安です。設置するときの参考としてご利用ください。

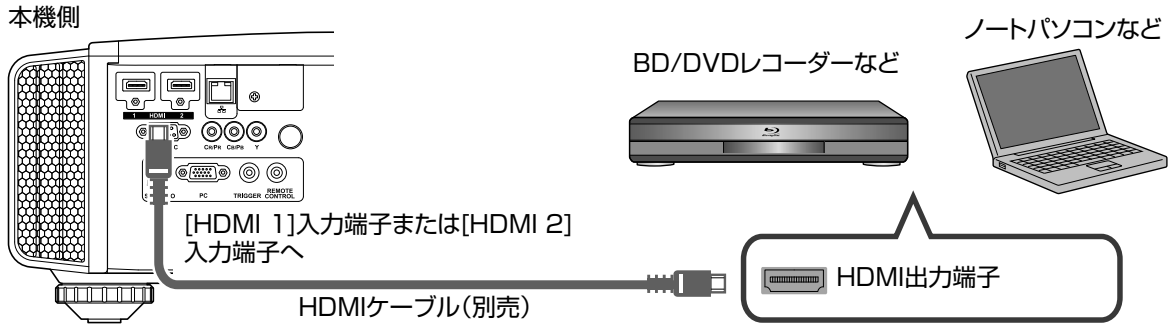
準備

接続する

- 接続が終わるまで、電源を入れないでください。
- ご使用の機器によって接続のしかたが異なります。接続する機器の取扱説明書をご覧ください。
- 本機は映像を投写するものです。接続する機器の音声出力は、ほかのアンプやスピーカーなど音声出力機器に接続してください。
- 接続する機器やケーブル、コードによっては、映像が表示されない場合があります。
  HDMI ケーブル(別売)は、HDMI 規格を取得したものを使用してください。
- 接続するケーブルやコードの端子カバーのサイズによっては、接続ができない場合があります。

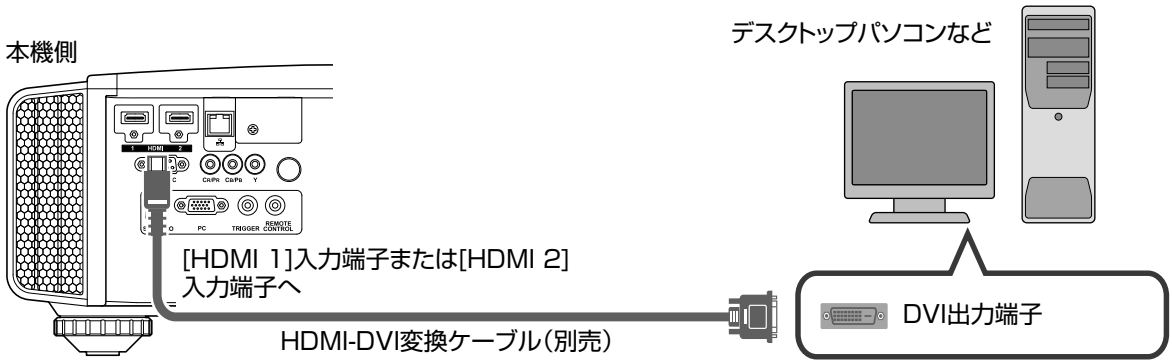
HDMI 入力端子とつなぐ(デジタル入力)

HDMI ケーブルでつなぐ



- ノイズが出る場合は、ノートパソコンなどを本機からはなしてください。
- HDMI 規格を取得した転送帯域が、340 MHz のケーブルをお勧めします。転送帯域が 75 MHz のケーブルを使用の場合は、送信側機器の映像の解像度を 1080i 以下にすることをおすすめします。
- 映像が表示されない場合はケーブル長さを短くするか、映像の解像度を送信側機器で下げることをおすすめします。

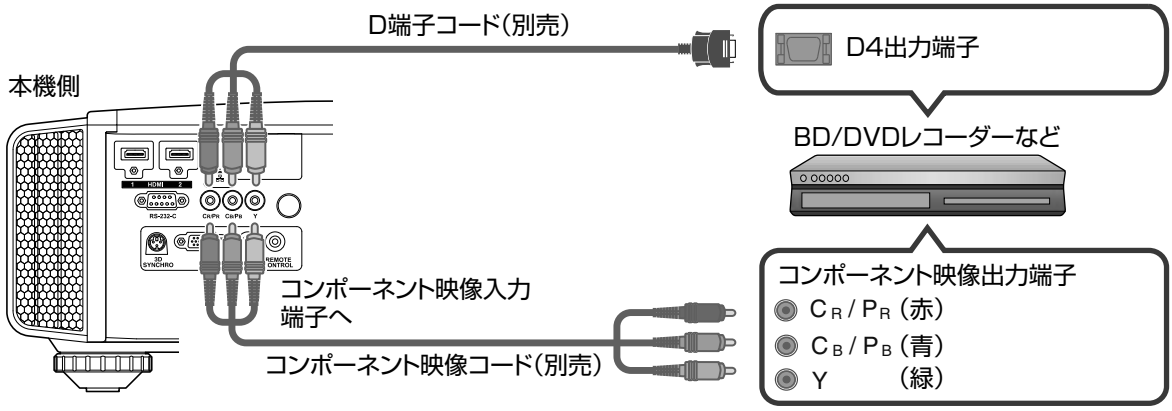
HDMI-DVI 変換ケーブルでつなぐ



- ノイズが出る場合は、デスクトップパソコンなどを本機からはなしてください。
- 映像が表示されない場合はケーブル長さを短くするか、映像の解像度を送信側機器で下げることをおすすめします。

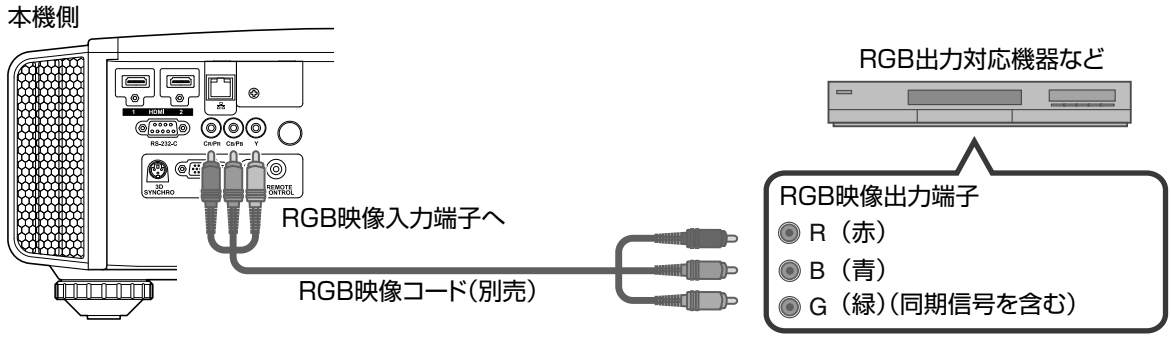
コンポーネント映像入力端子とつなぐ(アナログ入力)

コンポーネント映像コードや D 端子コードでつなぐ



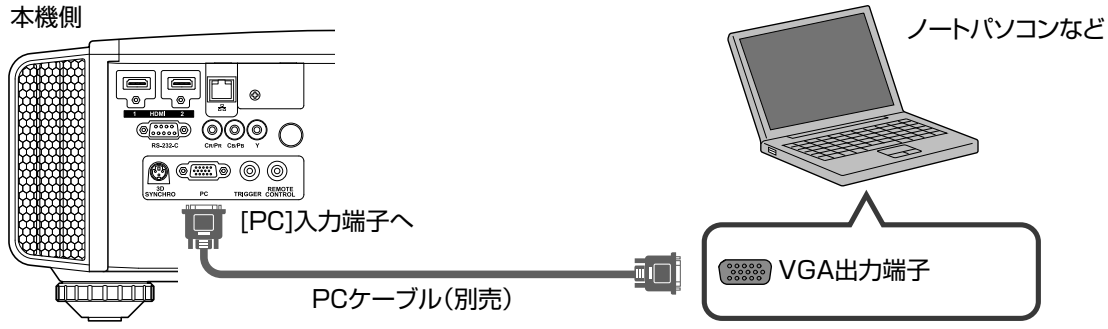
- 設定メニューの「COMP.」を「Y Pb/Cb Pr/Cr」に設定してください。(p. 49)

RGB 映像コードでつなぐ



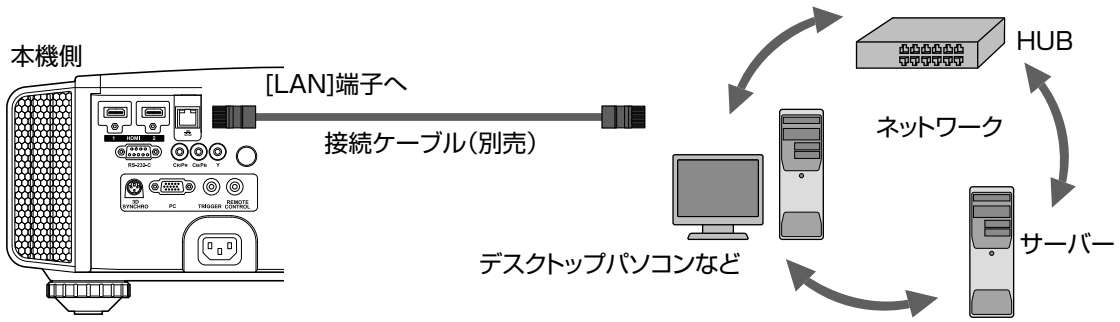
- 設定メニューの「COMP.」を「RGB」に設定してください。(p. 49)
- 対応入力信号については「主な仕様」 p. 74 をご覧ください。

PC 入力端子とつなぐ X95R X75R



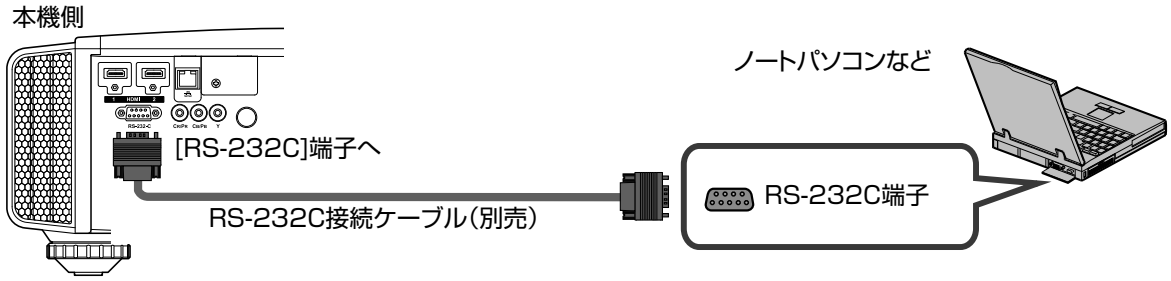
- 対応信号については、「入力可能な信号の種類」 (p. 77)をご確認ください。

LAN 端子とつなぐ



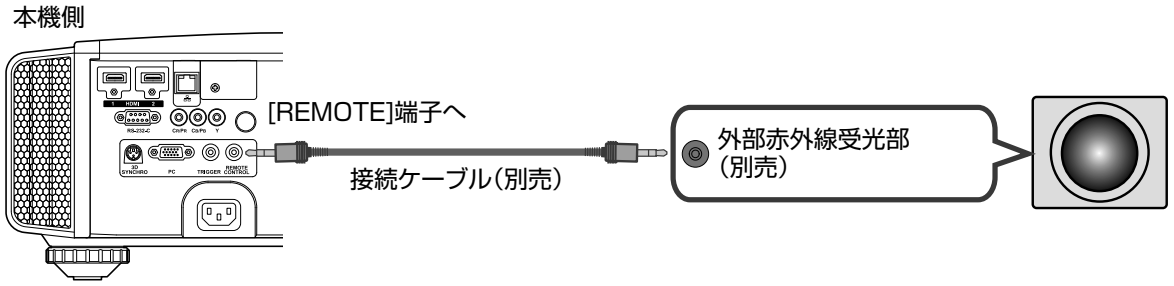
- ネットワークは本機の制御用に使用します。映像信号の送受信をするものではありません。
- ネットワークへの接続は、ネットワーク管理者にご相談ください。
- 待機時に RS-232C/LAN 通信、HDMI リンク機能を使用する場合は「ECO Mode」を「オフ」に設定してください。(p. 58)
- 制御については、「外部制御」(p. 70)をご確認ください。

RS-232C 端子とつなぐ



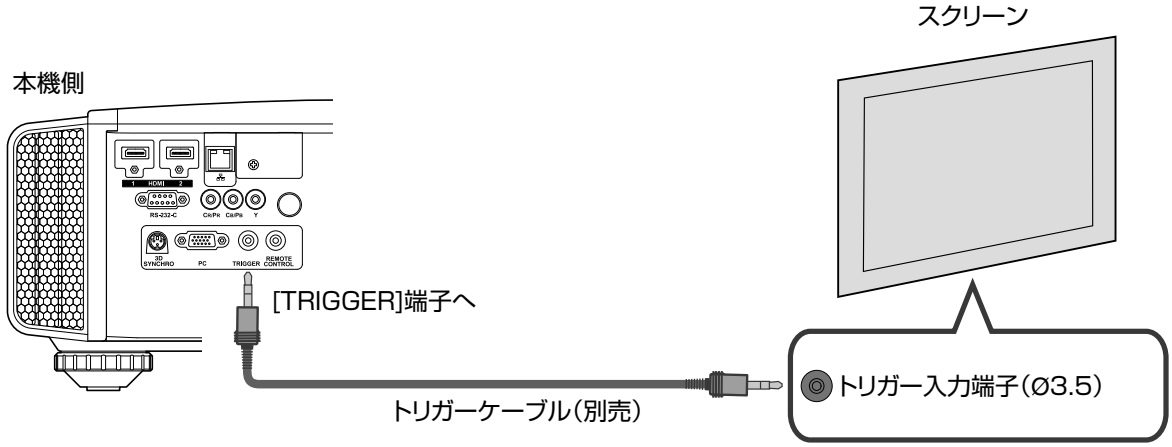
- 待機時に RS-232C/LAN 通信、HDMI リンク機能を使用する場合は「ECO Mode」を「オフ」に設定してください。(p. 58)
- 制御については、「外部制御」(p. 70)をご確認ください。

REMOTE 端子とつなぐ



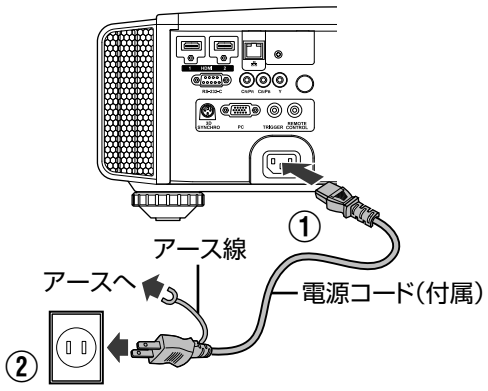
- 外部赤外線受光部および接続ケーブルに関しては、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

TRIGGER端子とつなぐ



- ほかの機器の電源などに使用しないでください。
- ほかの機器の音声端子などに接続すると、ほかの機器の故障や傷害の原因となります。
- 定格を超えて使用すると、故障の原因となります。
- トリガー端子は、12 V の電圧を出力しているため、ショートには十分注意してください。
- 工場出荷時は、「オフ」設定になっています。メニューの「トリガー」項目(p. 58)で設定してください。

電源コード(付属品)をつなぐ



① 本体の電源入力端子に付属の電源コードを接続する

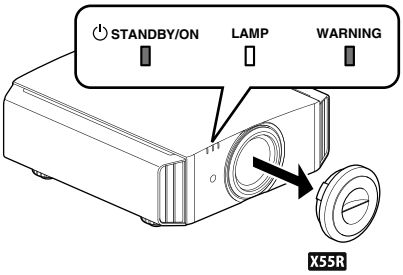
② アース線を建物に備えられているアース端子に接続し、付属の電源コードのプラグを壁のコンセントに差し込む

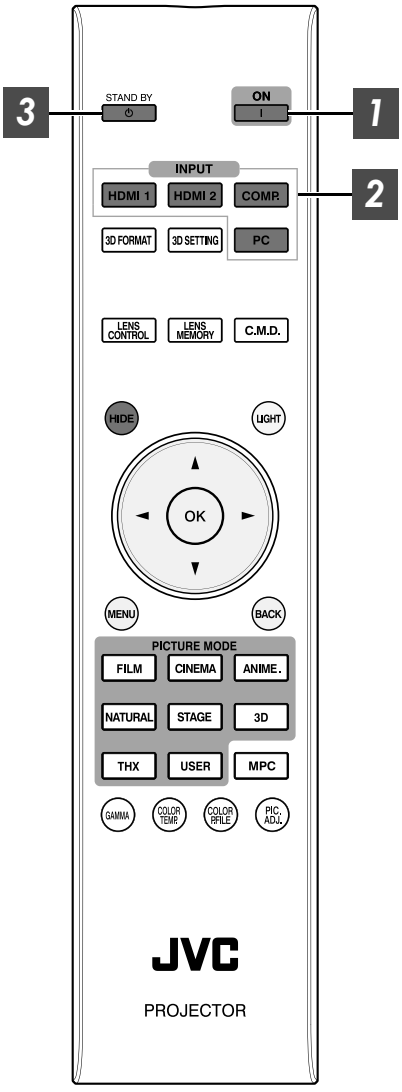
> • アース線の接続は、必ず電源プラグをコンセントにつなぐ前に行ってください。また、アース線の接続を外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから外して行ってください。

火災・感電防止の注意

- 本機は電源の容量が大きいため、壁のコンセントへ直接接続してください。
- 機器を使用しないときは、機器の電源コードをコンセントから抜いてください。
- 付属の電源コード以外では、接続しないでください。
- 表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。
- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また、重いものをのせたり、加熱したり、引っ張ったりしないでください。電源コードが破損します。
- 濡れた手でプラグを抜き差ししないでください。

映像をみる





MEMO

- X55R をご使用の際は、必ずレンズカバーを外してください。
- 電源コードを接続して、「STANDBY/ON」インジケーターが赤色に点灯していることを確認してください。

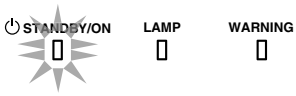
1 電源を入れる

リモコン：I [ON]ボタンを押す

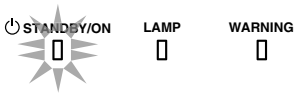
本体：⏻/I [STANDBY/ON]ボタンを押す

- 「STANDBY/ON」インジケーターが赤色から緑色に変わります（起動後は消灯します）。
- X95R X75R は、電動スライドカバーが開きます。

「STANDBY/ON」点灯（赤）
スタンバイ状態のとき



「STANDBY/ON」点灯（緑）
ランプ起動中のとき



2 投写する映像を選ぶ

リモコン：[INPUT]ボタン（[HDMI 1]、[HDMI 2]、[COMP.]、[PC]（X95R X75R のみ））を押す

本体：[INPUT]ボタンを押す（押すたびに切り換わります）

HDMI 1 → HDMI 2 → COMP. → PC (X95R X75R)

- 選んだ機器を再生して、映像を投写します。

映像を一時的に消すには

本体またはリモコンの[HIDE]ボタンを押す

- 「STANDBY/ON」インジケーターが緑色の点滅に変わります。
- [HIDE]ボタンをもう一度押すと、映像が表示されます。
- 映像を一時的に消しているときは、電源を切ることができません。

操作

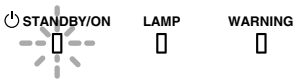
3 電源を切る

リモコン:⏻ [STAND BY]ボタンを押す

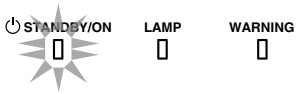
本体:⏻/I [STANDBY/ON]ボタンを押す

- 「電源を切りますか?」のメッセージが表示されている間に、もう一度ボタンを押します。
- ランプが消灯し、「STANDBY/ON」インジケーターが緑色から赤色の点滅に変わります。
- ランプ冷却のため、消灯後約 60 秒間ファンが回ります(クールダウンモード)。
  冷却中は、電源ケーブルを抜かないでください。
- 約 60 秒後に、「STANDBY/ON」インジケーターが赤色の点滅から点灯に変わります。

「STANDBY/ON」点滅(赤)
クールダウンモードのとき



「STANDBY/ON」点灯(赤)
スタンバイ状態のとき



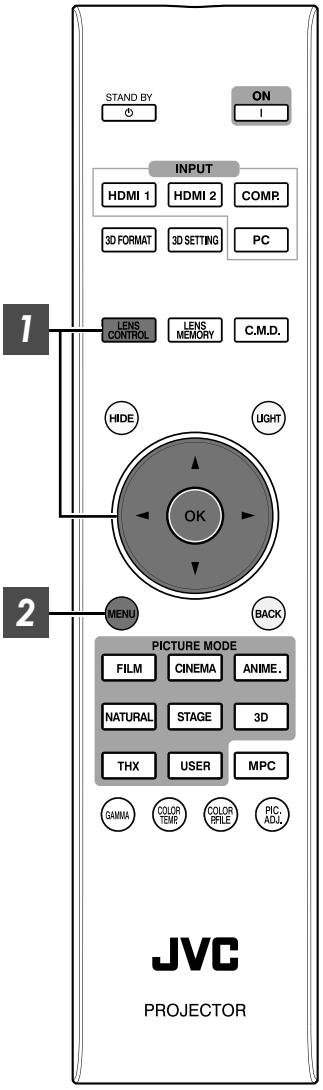
- **X55R** は、レンズカバーを取り付けます。
- **X95R** **X75R** は、電動スライドカバーが閉まります。

注意

- 本機の電源を入れて、約 90 秒間は電源を切ることができません。
- ランプ冷却のため、消灯後約 60 秒間ファンが回ります(クールダウンモード)。
  冷却中は、電源ケーブルを抜かないでください。
- 冷却中(60 秒間)は、電源の再投入はできません。
- 長時間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

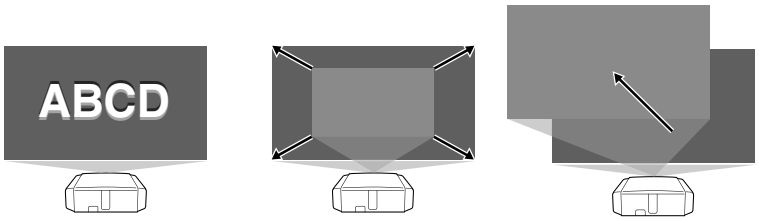
投写画面を調整する

投写箇所に合わせてレンズを調整する



1 [LENS CONTROL]ボタンを押し、[▲▼◀▶]キーでフォーカス（焦点）、ズーム（画面サイズ）、シフト（画面位置）を調整する

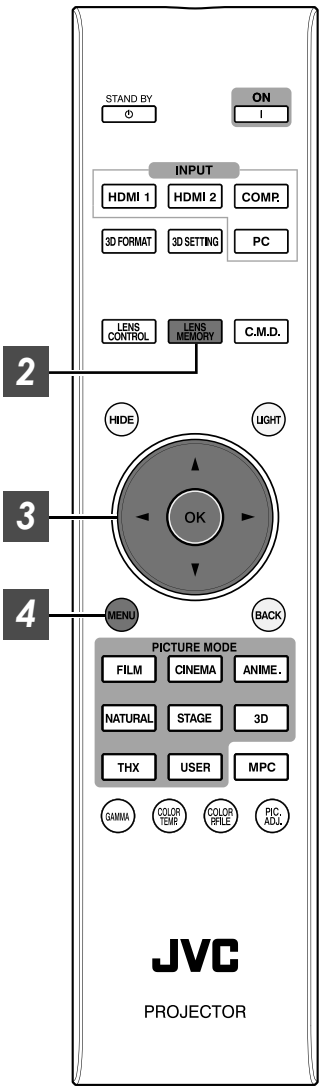
- [LENS CONTROL]ボタンまたは[OK]ボタンを押すごとに「フォーカス」→「ズーム」→「シフト」→「フォーカス」･･･の順に切り換わります。



フォーカス（焦点）調整　ズーム（画面サイズ）調整　シフト（画面位置）調整

2 [BACK]ボタンを1回、または[MENU]ボタンを2回押して、調整を終了する

調整内容を保存・呼び出す



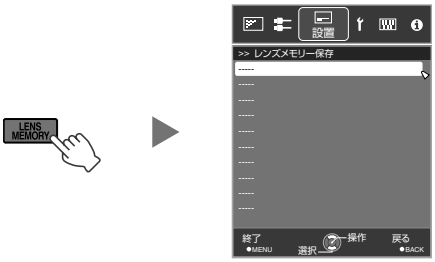
フォーカス、ズーム、シフトの調整内容を保存したり、呼び出したりできるので、アスペクト(画面サイズ)の異なる映像でも簡単に切り換えて投写できます。

- [LENS MEMORY]ボタンを押すごとに「レンズメモリー保存」→「レンズメモリー呼出」→「レンズメモリー編集」→「レンズメモリー保存」・・・の順で切り換わります。
- 調整状態が保存されていないとき(工場出荷時)は、「レンズメモリー保存」のみが表示されます。

調整内容を保存する

1 フォーカス、ズーム、シフトを調整する(p. 24)

2 [LENS MEMORY]ボタンを押して、「レンズメモリー保存」を表示する



- メニューの「設置」→「レンズコントロール」→「レンズメモリー保存」を選んでも保存できます。

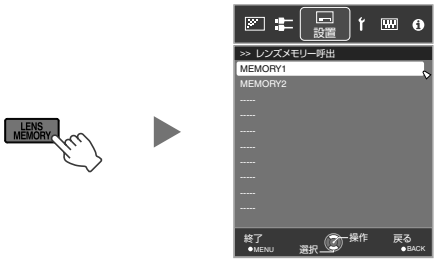
3 保存したい項目を選び、[OK]ボタンを押す

- 調整内容が保存されます。
- 保存されていない項目は[----]で表示されます。
- すでに保存されている項目を選んだ場合は、調整内容が上書きされます。
- 保存時に名称を変更することもできます。(p. 26)
- 保存できる項目の数は、X95R X75R は 10 個まで、X55R は 5 個までです。

4 [MENU]ボタンを押して、終了する

調整データを呼び出す

1 [LENS MEMORY]ボタンを押して、「レンズメモリー呼出」を表示する



- メニューの「設置」→「レンズコントロール」→「レンズメモリー呼出」を選んでも呼び出せます。

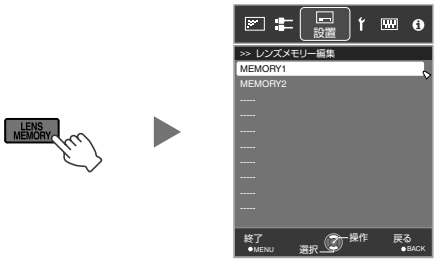
2 呼び出したい調整データを選び、[OK]ボタンを押す

- 呼び出した調整データに自動調整されます。
- 調整データが保存されていない場合は、グレー表示され選べません。

保存した調整データの名称を変更する

1 [LENS MEMORY]ボタンを押して、「レンズメモリー編集」を表示する

- メニューの「設置」→「レンズコントロール」→「レンズメモリー編集」を選んでも編集できます。



2 編集したい調整データを選び、[OK]ボタンを押す

- 編集画面が表示されます。

- 入力できる文字数は、10 文字までです。
- 使用できる文字は、大文字・小文字のアルファベット、数字、記号です。
- [Back]ボタンを押すと、編集中の内容をキャンセルして終了します。

3 名称を変更したら、「OK」を選んで、[OK]ボタンを押す

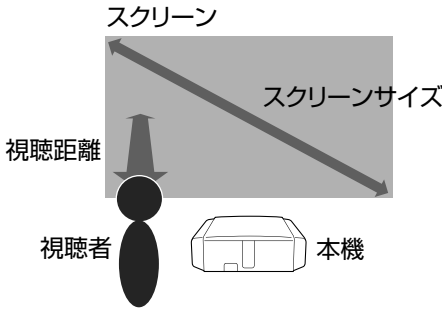
4 [MENU]ボタンを押して、終了する

視聴環境に合った画質を自動調整する

視聴環境に合わせて「環境設定」を設定すると、自動で画質調整を行い、環境差を補正して画質に与える影響を最小限に抑えます。

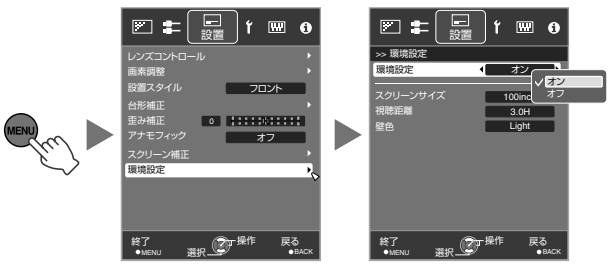
- 「環境設定」は、個別に設定した画質調整(p. 45)とは別に自動調整されます。

- 正面からの図 -



1 [MENU]ボタンを押して、メニューを表示する

2 メニューの「設置」→「環境設定」→「オン」を選ぶ



- 「環境設定」が「オフ」のときは、「スクリーンサイズ」、「視聴距離」、「壁色」は、グレー表示され選べません。

3 「スクリーンサイズ」を選び、使用するスクリーンサイズを設定する

- 「60inch」から「200inch」(10 インチおき)の中から、使用するスクリーンのサイズに近いものを選びます。

4 「視聴距離」を選び、視聴距離(スクリーンまでの距離)を設定する

- 「1 m」から「10 m」の中から、実際の視聴距離に近いものを選びます。
- 詳しくは、「画面サイズと投写距離」 p. 75 から高さをご確認ください。

5 「壁色」を選び、壁の色を設定する

- 壁の色が黒の場合は「Dark」に、黒以外の場合は「Light」に設定してください。

6 [MENU]ボタンを押して、終了する

MEMO

- **X95R** **X75R** の場合は、オプションの光学センサーと専用ソフトウェアを使用することで、より細かい調整ができます。
  専用ソフトウェアは、当社ホームページをご確認ください。

http://www3.jvckenwood.com/projector/index.html

操作

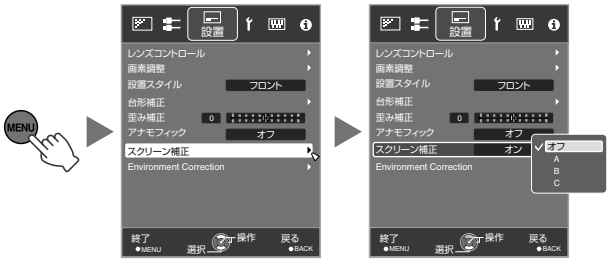
スクリーン補正を設定する

使用するスクリーンの特性に合わせて最適な補正モードを設定すると、自然で色彩バランスのとれた映像に補正されます。

- X95R X75R X55R の場合、「カラープロファイル」が「オフ」のときは、使用できません。

1 [MENU]ボタンを押して、メニューを表示する

2 メニューの「設置」→「スクリーン補正」→「オン」を選ぶ



- X95R X75R：「1」～「105」の 105 種類から選びます。
- X55R：「A」、「B」、「C」の 3 種類から選びます。
- スクリーンと補正モードの対応表は、当社ホームページをご確認ください。

http://www3.jvckenwood.com/projector/index.html

3 [MENU]ボタンを押して、終了する

画面サイズ(アスペクト)を調整する

入力されたオリジナルの画面サイズ(アスペクト)に対して、投写する映像の画面サイズを最適に設定できます。

1 [MENU]ボタンを押して、メニューを表示する

2 メニューの「入力信号」→「アスペクト (Video)」 または 「アスペクト (PC)」を選ぶ

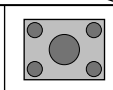
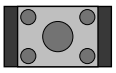
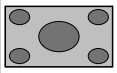
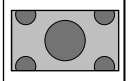
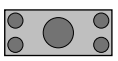
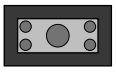
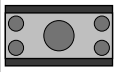
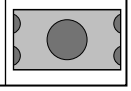
入力信号	設定値	内容
アスペクト (Video)	4:3	画面サイズを 4:3 にします。HD 信号は左右が縮小されます。
	16:9	画面サイズを 16:9 にします。SD 信号は左右が拡大されます。
	ズーム	映像全体を拡大(ズーム)します。 ※ HD 信号時は選べません。
アスペクト (PC)	オート	映像を中央に配置し、画面全体に表示されるよう拡大します。
	1:1	入力された映像をそのままの大きさで表示します。
	フル	入力された映像のサイズ(アスペクト)を維持せず、画面全体に表示します。

- 3D 信号入力時は、「16:9」に固定されます。

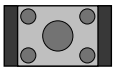
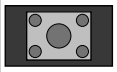
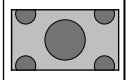
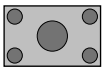
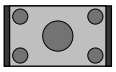
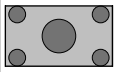
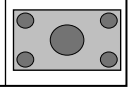
3 [MENU]ボタンを押して、終了する

入力映像と画面サイズの例

HDMI 入力、コンポーネント映像入力

入力映像 \ 出力映像		設定値 4:3	16:9	ズーム
4:3				
2.35:1 (シネマスコープ)				

PC 入力

入力映像 \ 出力映像		設定値 オート	1:1	フル
1280×1024				
1920×1200				

操作

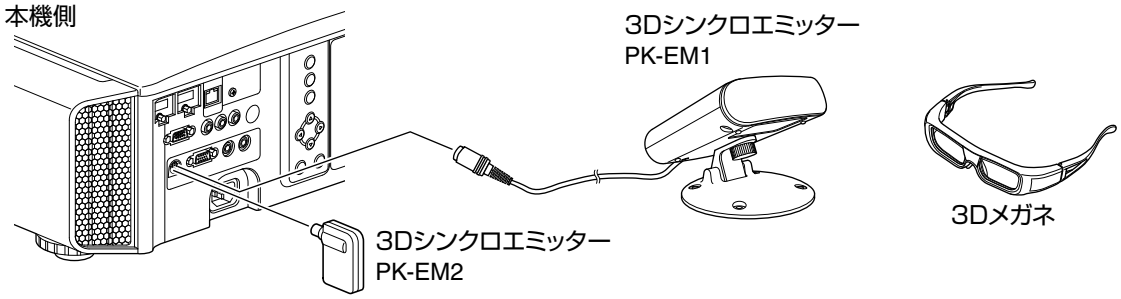
3D映像を楽しむ

別売の 3D メガネ（PK-AG1、PK-AG2、PK-AG3）と 3D シンクロエミッター（PK-EM1、PK-EM2）を使用して、3D 映像を楽しむことができます。

- 本機で使用できる 3D メガネと 3D シンクロエミッターについては、「別売品」 p. 3 をご覧ください。

3D シンクロエミッターを設置する

1 3D シンクロエミッターを本体の[3D SYNCHRO]端子につなぐ



2 3D メガネが 3D シンクロエミッターからの信号を受信できるように 3D シンクロエミッターの位置を調整する

- 詳しくは、別売の 3D メガネと 3D シンクロエミッターの取扱説明書をご確認ください。

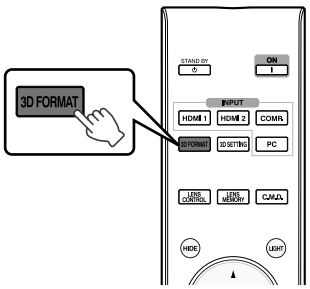
3D 映像を見る

1 3D 対応の HDMI 機器と接続し、電源を入れ、3D 映像を再生する

- 3D 映像の再生方法は、ご使用のプレーヤーやレコーダーの取扱説明書をご確認ください。
- 3D 信号を受信すると、自動的に映像が 3D 映像に切り換わります。
- 本機は、次の 3D フォーマットに対応しています。
  - フレーム パッキング
  - サイド バイ サイド
  - トップ アンド ボトム
- 初期設定は、自動的に 3D 映像を写すように「3D フォーマット」を「オート」に設定しています。

自動的に切り換わらない場合

リモコンの[3D FORMAT]ボタンを押す



- [3D FORMAT]ボタンを押すごとに「オート」→「Side by Side」→「Top and Bottom」→「2D」→「オート」･･･の順に切り換わります。

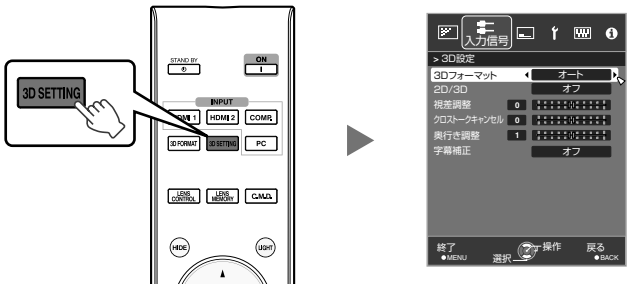
フォーマット	説明
オート	自動で判別し、設定します。
Side by Side	3D 入力信号がサイド バイ サイド方式の場合に選びます。
Top and Bottom	3D 入力信号がトップ アンド ボトム方式の場合に選びます。
2D	2D 映像を再生しているのに、3D 映像と誤認識されて表示された場合に選びます。

2 3D メガネの電源を入れ、装着する

- PK-AG1 は、自動で電源が入ります。

2D 映像を 3D 映像に変換して見る

1 [3D SETTING]ボタンを押して、「3D 設定」を表示する



2 「2D/3D」を選び、「オン」を選んで[OK]ボタンを押す

3 [MENU]ボタンを押して、終了する

MEMO

- 映像によっては、効果が現れにくい場合があります。

操作

3D 映像の調整をする

3D 映像の見えかたには、個人差があります。また、体調によっても見えかたが異なります。
最適な映像で見るために調整することをおすすめします。

1 [3D SETTING]ボタンを押して、「3D 設定」を表示する

視差を調整する(視差調整)

最も立体感が得られるように右目、左目用の映像のずれ量を調整します。

- ◀▶ キーでカーソルを移動して、調整します。
- 設定値:-15 ～ +15

クロストークを調整する(クロストークキャンセル)

二重像(左右の映像の他方への混入)を低減させ、クリアな映像が得られます。

- ◀▶ キーでカーソルを移動して、調整します。
- 設定値:-8 ～ +8

※「2D/3D」が「オン」のときは、調整できません。

奥行き感を調整する(奥行き調整)

2D/3D 変換映像が最も立体感が得られるように奥行きを調整します。

- ◀▶ キーでカーソルを移動して、調整します。
- 設定値:1 ～ 5

※「2D/3D」が「オン」のときのみ、調整できます。

MEMO

- 映像によっては、効果が現れにくい場合があります。

字幕の見え方を補正する(字幕補正)

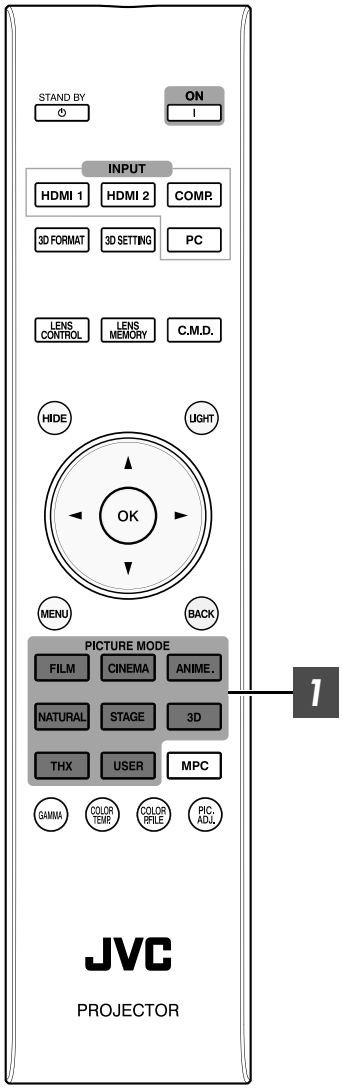
2D/3D 変換時に字幕の歪みが発生した場合、「オン」に設定してください。

※「2D/3D」が「オン」のときのみ、調整できます。

2 [MENU]ボタンを押して、終了する

映像作品の種類に合わせ画質を選ぶ

画質モードを設定する



視聴する映像の種類に合わせて画質を調整します。

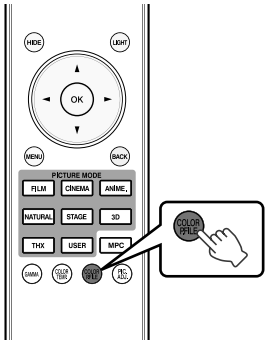
1 [PICTURE MODE]ボタンを押して、「画質モード」を表示する

2 「画質モード」を選ぶ

項目	内容
フィルム	フィルムの質感を再現した画質で、映画全般の鑑賞に適しています。
シネマ	DCI※規格を基に鮮やかな色彩を活かした画質で、デジタルシネマ作品の鑑賞に適しています。
アニメーション	アニメーション作品の鑑賞に適しています。
ナチュラル	自然な色彩・階調を重視した画質で、ドラマなどのビデオ素材の鑑賞に適しています。
ステージ	コンサートや舞台作品の鑑賞に適しています。
3D	メリハリある画質で、3D 作品の鑑賞に適しています。
THX X95R X75R	THX 社が認定している画質設定です。
User 1 ～ User 5	お好みに応じて調整した画質データの保存・呼出ができます。

※ DCI とは、Digital Cinema Initiatives の略称です。

カラープロファイルを設定する



「画質モード」に対応した「カラープロファイル」(色空間情報)を設定すると、さらに鑑賞する映像作品に最適な画質に調整できます。

1 「画質モード」を設定(p. 33)した後に、[COLOR P.FILE]ボタンを押す

- [COLOR P.FILE]ボタンを押すごとに「画質モード」に対応した「カラープロファイル」データが順に切り換わります。

「画質モード」に対応した「カラープロファイル」一覧 X55R

画質モード	カラープロファイル	内容
フィルム	フィルム	映画全般に適した色空間です。
	スタンダード	HDTV※規格の色空間となります。
シネマ	シネマ	色彩の鮮やかな映画の鑑賞に適した色空間となります。
	スタンダード	HDTV※規格の色空間となります。
アニメーション	アニメ	アニメーション作品に適した色空間となります。
	スタンダード	HDTV※規格の色空間となります。
ナチュラル	ナチュラル	ドラマなどのビデオ素材に適した色空間です。
	スタンダード	HDTV※規格の色空間となります。
ステージ	ステージ	コンサートや舞台作品などに適した色空間です。
	スタンダード	HDTV※規格の色空間となります。
3D	3D	3D 映像に適した色空間です。
	スタンダード	HDTV※規格の色空間となります。
User 1 ～ User 5	ステージ	「画質モード」が「User 1」～「User 5」の場合は、左記のカラープロファイルから選べます。 • カラープロファイルの内容は、上記と同じです。
	スタンダード	
	シネマ	
	アニメ	
	ナチュラル	
	ステージ	
	3D	
	オフ	色空間調整を行わないモードです。

※ HDTV とは、High Definition Television の略称です。

「画質モード」に対応した「カラープロファイル」一覧 X95R X75R

画質モード	カラープロファイル	内容
フィルム	フィルム 1	Eastman Kodak Company の映画フィルム特性に近似した色空間となります。
	フィルム 2	富士フィルム株式会社の映画フィルム特性に近似した色空間となります。
	フィルム 3	テクニカラー(3 色法)で制作されたフィルムをもとにデジタルリマスタリングされた作品に適した色空間です。
シネマ	シネマ 1	映画特有の豊かな色彩の色空間となります。
	シネマ 2	DCI 規格の色空間を近似した色空間となります。
	スタンダード	HDTV※1 規格の色空間となります。
アニメーション	アニメ 1	CG アニメに適した色空間となります。明るい色彩のアニメに向いています。
	アニメ 2	セル画アニメに適した色空間となります。淡い色彩のアニメに向いています。
	スタンダード	HDTV※1 規格の色空間となります。
ナチュラル	ビデオ	TV/ドラマ/スポーツなどに適した色空間となります。
	Vivid	鮮やかな色彩で、ゲームなどに適した色空間となります。
	AdobeRGB	AdobeRGB※2 規格の色空間となります。
	スタンダード	HDTV※1 規格の色空間となります。
ステージ	ステージ	コンサートや舞台作品などに適した色空間です。
	スタンダード	HDTV※1 規格の色空間となります。
3D	3D シネマ	3D の映画に適した色空間となります。
	3D ビデオ	3D の TV/ドラマ/スポーツに適した色空間となります。
	3D アニメ	3D のアニメに適した色空間となります。
THX	THX	THX 規格の色空間となります。
User 1 ～ User 5	スタンダード	「画質モード」が「User 1」～「User 5」の場合は、左記のカラープロファイルから選べます。 • カラープロファイルの内容は、上記と同じです。
	AdobeRGB	
	ビデオ	
	Vivid	
	ステージ	
	アニメ 1 / アニメ 2	
	シネマ 1 / シネマ 2	
	3D シネマ	
	3D ビデオ	
	3D アニメ	
	オフ	色空間調整を行わないモードです。
	Custom1 ～ Custom5	オートキャリブレーションにて調整された調整値が保存されます。 • オートキャリブレーションには、市販の光学センサーと専用ソフトウェアが必要です。詳しくは当社ホームページをご覧ください。

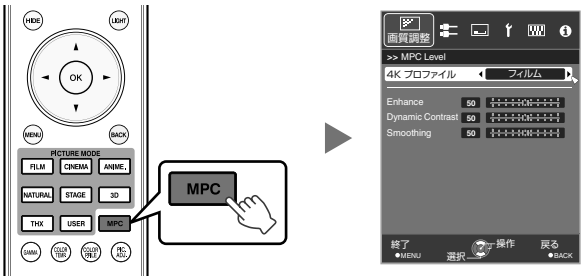
※1 HDTV とは、High Definition Television の略称です。

※2 AdobeRGB とは、Adobe 社が定義した広色域の色空間です。
Adobe とは、Adobe Systems Incorporated の米国及びその他の国における登録商標または商標です。

より表現豊かな映像に調整する（Multiple Pixel Control）

JVC 独自の新開発画像処理アルゴリズムにより、フォーカスの合っている場所はよりシャープに、フォーカスの合っていない場所はより滑らかに自然な印象で、より奥行き間のある表現豊かな 4K 映像を楽しめます。

1 [MPC]ボタンを押して、調整メニューを表示する



2 「4K プロファイル」を選び[OK]ボタンを押して、視聴しているコンテンツタイプを選ぶ

コンテンツタイプ	内容
フィルム	フィルムで撮影された Blu-ray Disc 作品を鑑賞するとき
高解像度	Blu-ray Disc 作品を鑑賞するとき
HD	TV 放送および放送録画作品を鑑賞するとき
SD	DVD 作品を鑑賞するとき
ダイナミック	より効果を楽しみたいとき
オフ	オリジナルの解像度（2K）で表示したいとき

※ HD とは、High Definition の略称です。

※ SD とは、Standard Definition の略称です。

- SD 画質で放送された作品を鑑賞されるときは、「SD」を選んでください。

3 [MENU]ボタンを押して、終了する

より細かく調整するには

コンテンツタイプを選んだ後に、「Enhance」、「Dynamic Contrast」、「Smoothing」を調整して、お好みの画質に設定できます。

項目	設定範囲	内容
Enhance	0〜100	鮮鋭感が増し、よりシャープな画質になります。
Dynamic Contrast	0〜100	コントラストが増し、よりメリハリのある画質になります。
Smoothing	0〜100	ぼかし感が増し、より滑らかな画質になります。

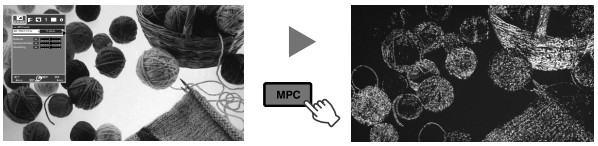
- 設定値を大きくすると、効果が大きくなります。
- 「4K プロファイル」が「オフ」のときは、オリジナルの解像度（2K）で表示されます。
- 「4K プロファイル」が「オフ」のときも、「Enhance」、「Dynamic Contrast」、「Smoothing」の調整はできます。

※ MPC とは、Multiple Pixel Control の略称です。

解析画面について

手順 1 の調整メニュー表示中に[MPC]ボタンを押すと、解析画面が表示されます。

解析画面では、「Enhance」、「Dynamic Contrast」、「Smoothing」を調整したときに、効果が現れる場所を色分けして表示します。



調整メニュー表示　　解析画面

表示される色	効果が現れる調整
青、緑	Enhance
赤、黄	Dynamic Contrast
黒	Smoothing

- 解析画面の表示中にいずれかのキーを操作すると、調整メニュー表示に戻ります。
- 解析画面の表示中は、調整ができません。調整メニュー表示に戻してから、調整してください。

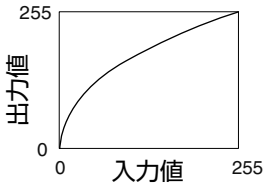
画質を詳細調整する

投写される映像の出力値を調整する(ガンマ)

入力した映像信号に対し、投写される映像の出力値を調整します。

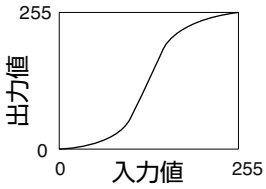
ガンマ調整の例

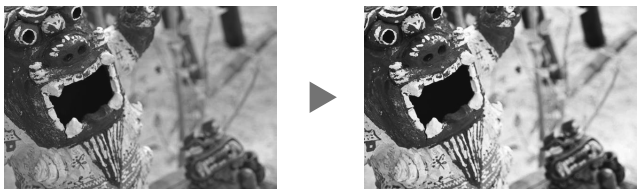
元の映像に対して、全体的に明るくなり、暗い部分が見やすくなります。



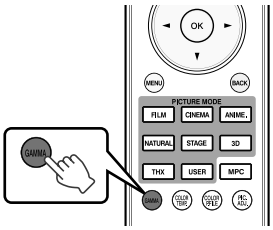
写真はイメージです。

元の映像に対して、コントラストが増し、奥行き感のある映像になります。





写真はイメージです。



1 [GAMMA]ボタンを押す

- [GAMMA]ボタンを押すごとに設定値が順に切り換わります。

※ お使いの機種、入力信号、画質モードによって設置値は異なります。

ガンマ調整の設定値 X55R

設定値	入力信号	内容
ノーマル	2D、3D	通常視聴するときの推奨設定です。
A		「ノーマル」よりも、階調を重視した映像になります。
B		フィルム特有の奥行き間のある映像になります。
C		「B」よりも、コントラストが強調された映像になります。
D		「ノーマル」よりも、中間調が明るい映像になります。
E		3D 映像を視聴するときの推奨設定です。
F		「E」よりも、全体的に明るい映像となります。
G		3D の TV/ドラマ/スポーツを視聴するときの推奨設定です。
H		「G」よりも、全体的に明るい映像となります。
カスタム 1〜カスタム 3	2D	お好みでガンマ調整できます。(p. 39)

- 3D 信号入力、および「画質モード」が「3D」時は、カスタム 1〜カスタム 3 を選べません。

ガンマ調整の設定値 X95R X75R

設定値	入力信号	画質モード	内容
フィルム 1	2D、3D	フィルム	Eastman Kodak Company の映画フィルムの特性に近似した映像になります。
フィルム 2			富士フィルム株式会社の映画フィルム特性に近似した映像になります。
フィルム 3			「フィルム 1」よりも、より階調を重視した映像になります。
フィルム 4			「フィルム 2」よりも、よりコントラストを強調した映像になります。
ノーマル		フィルム以外	通常視聴するときの推奨設定です。
A			「ノーマル」よりも、階調を重視した映像になります。
B			フィルム特有の奥行き間のある映像になります。
C			「B」よりも、コントラストが強調された映像になります。
D			「ノーマル」よりも、中間調が明るい映像になります。
E			3D 映像を視聴するときの推奨設定です。
F			「E」よりも、全体的に明るい映像となります。
G			3D の TV/ドラマ/スポーツを視聴するときの推奨設定です。
H			「G」よりも、全体的に明るい映像となります。
カスタム 1〜カスタム 3	2D	3D 以外	お好みでガンマ調整できます。(p. 39)

- 3D 信号入力、および「画質モード」が「3D」時は、カスタム 1〜カスタム 3 を選べません。
- 「画質モード」が「THX」のときは、THX 固定となります。

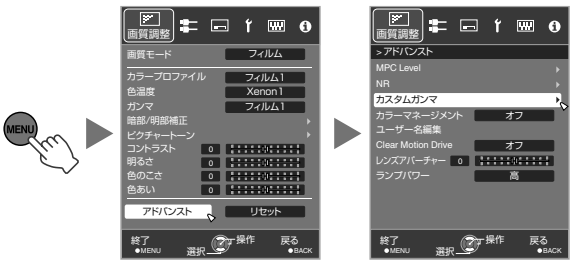
お好みでガンマ調整する(カスタムガンマ)

お好みの映像画質にガンマ調整できます。

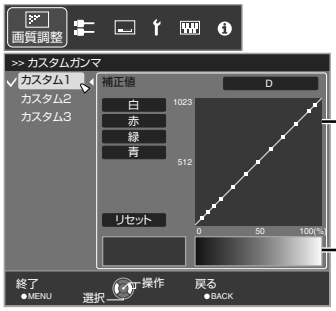
※ 3D 信号入力、および「画質モード」が「3D」時は、調整できません。

1 [MENU]ボタンを押して、メニューを表示する

2 メニューの「画質調整」→「アドバンスト」→「カスタムガンマ」を選ぶ



3 設定する項目(カスタム 1〜カスタム 3)を選び、[OK]ボタンを押す



ガンマ曲線

ガンマ曲線に対応した階調図

4 「補正値」を選び、◀▶ キーを押して、調整の元にする補正値(初期値)を選ぶ

- 補正値の内容については p. 38 をご覧ください。

X55R

ノーマル、A、B、C、D、E、F、G、H、1.8、1.9、2.0、2.1、2.2、2.3、2.4、2.5、2.6

X95R X75R

「画質モード」が「フィルム」のとき:「フィルム 1」、「フィルム 2」、「フィルム 3」、フィルム 4

「画質モード」が「フィルム」以外のとき:ノーマル、A、B、C、D、E、F、G、H、1.8、1.9、2.0、2.1、2.2、2.3、2.4、2.5、2.6

- 数値が小さいほど、映像の暗い部分が明るくなりますが、明るい部分はつぶれ気味になります。
- カスタム 1〜カスタム 3 の工場出荷値は、「ノーマル」と同じです。

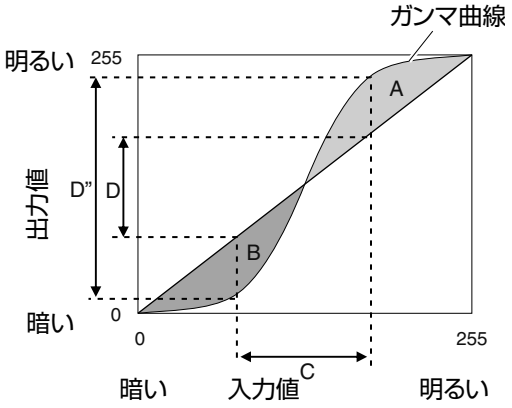
5 調整したい色を選んで、[OK]ボタンを押す

6 ◀▶ キーを押して、調整したい箇所(ガンマ曲線上の 12 個のポイント)を選び、▲▼ キーで明るさを調整する

- 調整が終わったら、[OK]ボタンを押して決定します。
- 「リセット」を選ぶと、初期値(ノーマル)にリセットされます。

7 [MENU]ボタンを押して、終了する

ガンマ調整について



- ガンマ曲線が直線の場合:
  入力映像と出力映像の明るさ、コントラストが同じになります。
- ガンマ曲線が直線より上に出ている部分(A):
  入力に比べて、出力映像が明るくなります。
- ガンマ曲線が直線より下に出ている部分(B):
  入力に比べて、出力映像が暗くなります。
- ガンマ曲線の傾きが急な部分(中間階調)(C):
  出力映像の濃淡の範囲が広くなり、コントラストが高くなります(D→D')。

明るい部分や暗い部分を補正する(暗部/明部補正)

明暗のはっきりとした画質に調整できます。

1 [MENU]ボタンを押して、メニューを表示する

2 メニューの「画質調整」→「暗部/明部補正」を選ぶ

暗部補正

入力映像の暗い部分の調整をします(白、赤、緑、青のそれぞれを調節可能)。

- ◀▶ キーでカーソルを移動して、調整します。
- 設定値:-7(暗い部分の輝度を落とす)〜+7(暗い部分をより明るくする)

明部補正

入力映像の明るい部分の調整をします(白、赤、緑、青のそれぞれを調節可能)。

- ◀▶ キーでカーソルを移動して、調整します。
- 設定値:-7(明るい部分の輝度を落とす)〜+7(明るい部分をより明るくする)

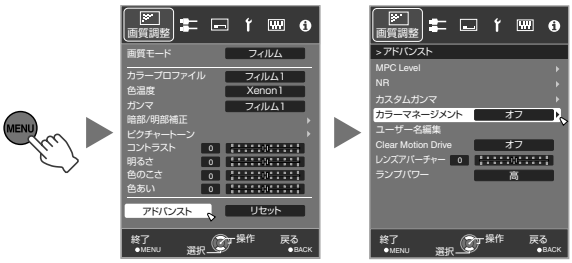
3 [MENU]ボタンを押して、終了する

お好みの色に調整する（カラーマネージメント）

赤、オレンジ、黄、緑、シアン、青、マゼンタの各色をそれぞれお好みの色に調整できます。

1 [MENU]ボタンを押して、メニューを表示する

2 メニューの「画質調整」→「アドバンスト」→「カラーマネージメント」を選ぶ



3 お好みの色に調整する

① 設定する項目（カスタム 1〜カスタム 3）を選び、[OK]ボタンを押す

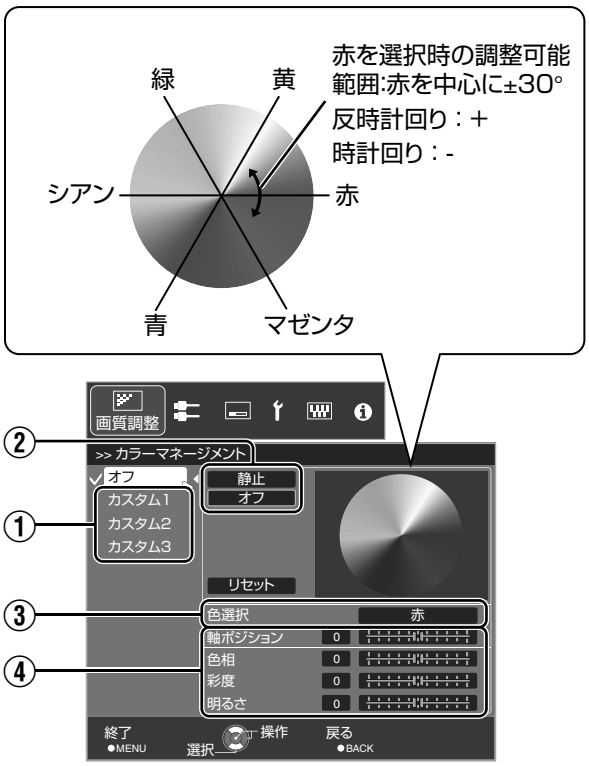
② 「静止」を選び[OK]ボタンを押して、調整中の背景を設定する

- 調整中は入力している映像が背景として表示されます。
- 「オン」：動画を入力しているときに、映像を静止します。
- 「オフ」：動画を入力しているときに、映像を静止しません。

③ 「色選択」を選び、◀▶ キーを押して、調整する色を選ぶ

- 調整する色は、「赤」、「オレンジ」、「黄」、「緑」、「シアン」、「青」、「マゼンタ」から選べます。
- [HIDE]ボタンを押すと、調整前の映像が確認できます。

④ 選んだ色の調整をする



項目	設定範囲	説明
軸ポジション	-30〜30	選択した色の中心軸の位置を微調整します。
色相	-30〜30	色相（色合い）を調整します。
彩度	-30〜30	彩度（あざやかさ）を調整します。 -30（くすんだ色）〜+30（あざやか色）
明るさ	-30〜30	明るさを調整します。 -30（暗い）〜+30（明るい）

- 「リセット」を選ぶと、調整値がすべてリセットされます。

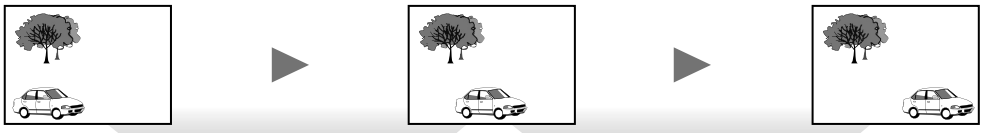
4 [MENU]ボタンを押して、終了する

動きの早い映像の残像を低減する（Clear Motion Drive（C.M.D.））

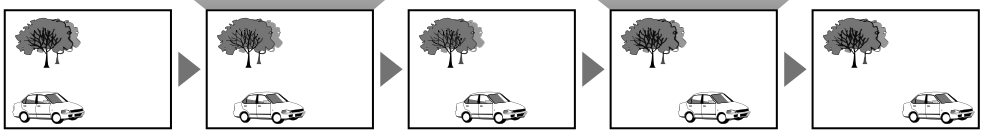
JVC 独自の高精細画像補間技術により、動きの速いシーンで発生する残像感を低減させます。

- PC 信号入力、3D 信号入力時、および「2D/3D」が「オン」のときは設定できません。
- シーンによっては、補間により映像が乱れる場合があります。その場合は「オフ」に設定してください。

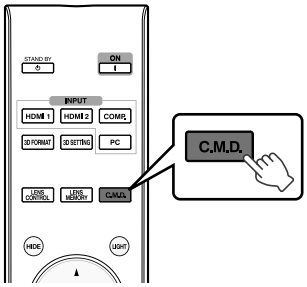
■ 元映像



■ 補間オン



中間フレーム生成　　中間フレーム生成



1 [C.M.D.]ボタンを押す

- [C.M.D.]ボタンを押すごとに「オフ」→「低」→「高」→「Film Motion」→「オフ」･･･の順で切り換わります。

設定値	内容
オフ	補間しません。
低	滑らかな画質になります。
高	「低」よりも、滑らかな画質になります。
Film Motion	TV や DVD などの 60i/60p の映像で、元映像が 24 コマの映画ソースの場合に適しています。 • 24p の映像には機能しません。

※ C.M.D.とは、Clear Motion Drive の略称です。

※ リモコンの[C.M.D.]ボタンは、お使いの機種によって配置が異なります。（p. 13）

メニューで行う調整と設定

[MENU]ボタンを押すと、メニューが表示されます。
[▲▼◀▶]キーを押して項目を選び、[OK]ボタンで決定します。

メニュー項目一覧

画質調整

▶ 画質モード ..... p. 33
▶ カラープロファイル ..... p. 34
▶ 色温度 ..... p. 45
▶ ガンマ ..... p. 37
▶ 暗部/明部補正 ..... p. 46
▶ ピクチャートーン ..... p. 46
▶ コントラスト ..... p. 46
▶ 明るさ ..... p. 46
▶ 色のこさ ..... p. 46
▶ 色あい ..... p. 46
▶ アドバンスト ..... p. 47
↳ MPC Level ..... p. 36
↳ NR ..... p. 47
↳ カスタムガンマ ..... p. 39
↳ カラーマネージメント ..... p. 41
↳ ユーザー名編集 ..... p. 48
↳ Clear Motion Drive ..... p. 42
↳ レンズアパーチャー ..... p. 48
↳ ランプパワー ..... p. 48
↳ リセット ..... p. 48

入力信号

▶ HDMI ..... p. 49
▶ COMP. ..... p. 49
▶ PC X95R X75R ..... p. 50
▶ 表示位置 ..... p. 50
▶ アスペクト (Video) ..... p. 29
▶ アスペクト (PC) ..... p. 29
▶ 画面マスク ..... p. 50
▶ プログレッシブ ..... p. 50
▶ 3D 設定 ..... p. 30

設置

▶ レンズコントロール ..... p. 24
↳ フォーカス ..... p. 24
↳ ズーム ..... p. 24
↳ シフト ..... p. 24
↳ イメージパターン ..... p. 51
↳ ロック ..... p. 51
↳ レンズメモリー呼出 ..... p. 25
↳ レンズメモリー保存 ..... p. 25
↳ レンズメモリー編集 ..... p. 25
↳ レンズセンター ..... p. 51
↳ スライドカバー X95R X75R ..... p. 51
▶ 画素調整 ..... p. 52
▶ 設置スタイル ..... p. 53
▶ 台形補正 ..... p. 53
▶ 歪み補正 ..... p. 53
▶ アナモフィック ..... p. 53
▶ スクリーン補正 ..... p. 28
▶ 環境設定 ..... p. 27

表示設定

▶ バックカラー ..... p. 57
▶ メニュー位置 ..... p. 57
▶ メニュー表示 ..... p. 57
▶ ライン表示 ..... p. 57
▶ 信号表示 ..... p. 57
▶ ロゴ ..... p. 57
▶ 言語 ..... p. 57

機能

▶ トリガー ..... p. 58
▶ オフタイマー ..... p. 58
▶ 高地モード ..... p. 58
▶ ECO Mode ..... p. 58
▶ 通信端子 ..... p. 58
▶ ネットワーク ..... p. 58
▶ リモコンコード ..... p. 59
▶ ランプリセット ..... p. 63

情報

▶ 情報 ..... p. 60

画質調整

画質モード

視聴する映像の種類に合わせて画質を調整します。

➡「画質モードを設定する」（p. 33）

カラープロファイル

「画質モード」に対応した「カラープロファイル」（色空間情報）を設定すると、さらに鑑賞する映像作品に最適な画質に調整できます。

➡「カラープロファイルを設定する」（p. 34）

色温度

映像の色温度を設定します。

- 「画質モード」が「THX」のときは、6500K 固定になります。

プリセット

設定	内容
Xenon1～Xenon3 X95R X75R ※「画質モード」が「フィルム」時のみ選べます。	映画館で使用されているキセノンランプの特性を再現する色温度にします。 • Xenon1：フィルム映写機で出力される光源色 • Xenon2：デジタルシネマ用プロジェクターで出力される光源色 • Xenon3：「Xenon2」よりもクールに見える光源色
5500K～9500K（500K ごとに 9 段階）	高い値になると青みがかった映像に、低い値になると赤みがかった映像になります。
明るさ優先 ※「画質モード」が「3D」時のみ選べます。	明るさを優先した色温度になります。
カスタム１～カスタム３	映像の色温度を調整して、それぞれに保存できます。

カスタム

設定	内容
ゲイン赤、ゲイン緑、ゲイン青 ※ カスタム１～カスタム３時のみ調整できます。	映像の明るい部分を色ごとに調整します。 • 設定値：-255（赤/緑/青を弱く）～ 0（赤/緑/青を強く）
オフセット赤、オフセット緑、オフセット青	映像の暗い部分を色ごとに調整します。 • 設定値：-50（赤/緑/青を弱く）～ +50（赤/緑/青を強く）

ガンマ

入力した映像信号に対し、投写される映像の出力値を調整します。

➡「投写される映像の出力値を調整する(ガンマ)」(p. 37)

暗部/明部補正

明暗のはっきりとした画質に調整できます。

➡「明るい部分や暗い部分を補正する(暗部/明部補正)」(p. 40)

ピクチャートーン

映像露光の強弱が再現できます。

設定	内容
トーン 白	• 設定値:-16(露光アンダーで暗くする) ～ +16(露光オーバーで明るくする)
トーン 赤、トーン 緑、トーン 青	• 設定値:-16(赤/緑/青を露光アンダーにする) ～ +16(赤/緑/青を露光オーバーにする)

コントラスト

明暗の差を調整し、メリハリのある映像になります。

- 設定値:-50(明暗差が小さい) ～ +50(明暗差が大きい)

明るさ

映像の明るさを調整します。

- 設定値:-50(暗く) ～ +50(明く)

色のこさ

映像の色のこさを調整します。

- 設定値:-50(薄く) ～ +50(濃く)

色あい

映像の色合いを調整します。

- 設定値:-50(赤っぽく) ～ +50(緑っぽく)

アドバンスト

詳細な画質調整が行えます。

MPC Level

自然な印象で、より奥行き間のある表現豊かな 4K 映像を楽しめます。

➡「より表現豊かな映像に調整する（Multiple Pixel Control）」（p. 36）

NR

映像のノイズを低減します。

設定	内容
RNR	映像のランダムノイズ除去の強さを調整します。 • 設定値：0（弱い）～ +16（強い）
MNR ※「画質モード」が「3D」時、または HD 信号入力時は、調整できません。	映像のモスキートノイズ除去の強さを調整します。 • 設定値：0（弱い）～ +16（強い）
BNR ※「画質モード」が「3D」時、または HD 信号入力時は、調整できません。	「オン」に設定すると、映像のブロックノイズを低減します。

カスタムガンマ

お好みの映像画質にガンマ調整できます。

➡「お好みでガンマ調整する（カスタムガンマ）」（p. 39）

カラーマネージメント

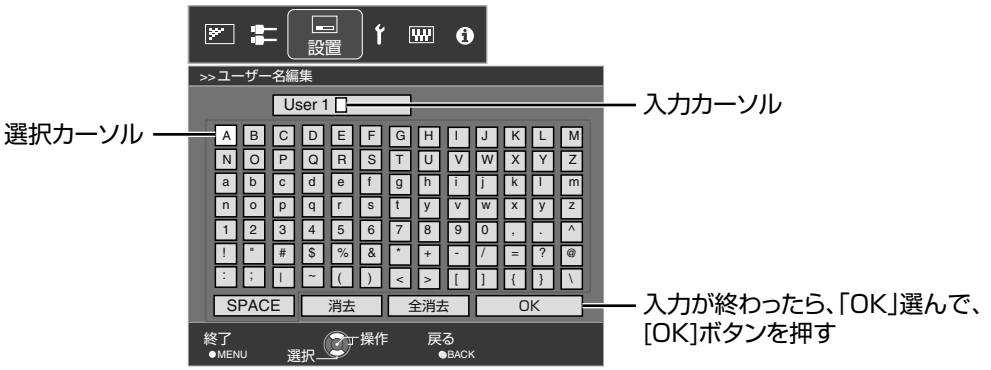
各色をそれぞれお好みの色に調整できます。

➡「お好みの色に調整する（カラーマネージメント）」（p. 41）

ユーザー名編集

画質モード「User 1」～「User 5」の名称を編集できます。

- 使用できる文字は、大文字・小文字のアルファベット、数字、記号です。
- 文字数は 10 字までです。



Clear Motion Drive

動きの速いシーンで発生する残像感を低減させます。

➡「動きの早い映像の残像を低減する（Clear Motion Drive（C.M.D.））」（p. 42）

レンズアパーチャー

光学アイリスの絞り量を調整します。

- アイリスを絞ると明るさは低下しますが、コントラストが上がります。
- 設定値：-15（絞る）～ 0（開く）

ランプパワー

ランプの明るさを「低」または「高」に設定できます。

- 「画質モード」により、工場出荷値は異なります。
- 「高」で使い続けると、ランプが暗くなるのが早くなります。

リセット

画質調整設定値を工場出荷状態に戻します。

入力信号

HDMI

HDMI 入力端子を選んでいるときに設定できます。

入力

入力映像のダイナミックレンジ(階調)を設定します。

- ダイナミックレンジが合っていないと、明るい部分が明るすぎて白飛びしたり、暗い部分が暗すぎて黒つぶれしたりします。

設定	内容
スタンダード	主にビデオ信号(ダイナミックレンジ:16 - 235)を入力する場合に設定します。
エンハンス	主に PC 信号(ダイナミックレンジ:0 - 255)を入力するの場合に設定します。
Super White	SuperWhite 対応機器信号(ダイナミックレンジ:16 - 255)を入力する場合に設定します。

入力レベル確認

入力映像のダイナミックレンジが確認できます。

カラースペース

入力信号の色空間を設定します。

設定	内容
オート	「YCbCr(4:4:4)」、「YCbCr(4:2:2)」、「RGB」を自動で判別します。
YCbCr(4:4:4)	YCbCr(4:4:4)映像信号を入力するときに設定します。
YCbCr(4:2:2)	YCbCr(4:2:2)映像信号を入力するときに設定します。
RGB	RGB 映像信号を入力するときに設定します。

HDMI 機器制御(CEC)

HDMI リンク機能の設定をします。

- 「オン」にすると、電源オン/オフや入力切換など接続機器の操作が本機の操作と連動します。

COMP.(コンポーネント映像)

コンポーネント映像入力端子を選んでいるときに設定できます。

カラースペース

入力信号の色空間を設定します。

設定	内容
Y Pb/Cb Pr/Cr	コンポーネント映像信号を入力するときに設定します。
RGB	RGB 映像信号を入力するときに設定します。

PC X95R X75R

PC 入力端子を選んでいるときに設定できます。

設定		内容
自動調整		「トラッキング」、「フェーズ」、「表示位置」を自動調整します。
トラッキング		映像の横方向のサイズと表示位置を調整します。
フェーズ		映像のちらつきやボケを調整します。
表示位置	水平方向	映像の水平位置を調整します。
	垂直方向	映像の垂直位置を調整します。

表示位置(水平位置/垂直位置)

水平・垂直の同期信号のタイミングにより映像の端が少しかけている現象が起こったときに調整してください。

※ 3D 信号入力時は調整できません。

アスペクト (Video) / アスペクト (PC)

入力されたオリジナルの画面サイズ(アスペクト)に対して、投写する映像の画面サイズを最適に設定できます。

➡「画面サイズ(アスペクト)を調整する」(p. 29)

画面マスク

画面外周部をマスク(黒帯)で隠すことができます。

■ オフ

■ オン

マスク:外周黒帯

設定	内容
オフ	マスク(黒帯)しません。
2.5%	映像の周辺を元画像に対して、約 2.5%のマスク(黒帯)で隠します。
5%	映像の周辺を元画像に対して、約 5.0%のマスク(黒帯)で隠します。
カスタム	映像の上下左右の周辺を元画像に対して、それぞれ約 0〜5%までマスク(黒帯)で隠します。

プログレッシブ

インターレース信号の補間設定を変換します。

設定	内容
オート	フィルム映画などの 24p 映像をインターレース変換した信号か、ビデオ素材などのインターレース信号のものかを自動で判別して映像の補間をします。
オフ	ビデオ素材などのインターレース信号として映像の補間をします。

3D 設定

3D 映像を楽しむための設定をします。

➡「3D 映像を楽しむ」(p. 30)

設置

レンズコントロール

フォーカス / ズーム / シフト

投写箇所に合わせて、レンズを調整します。

➡「投写箇所に合わせてレンズを調整する」（p. 24）

イメージパターン

設定	内容
オン	レンズ調整用パターンを表示します。
オフ	レンズ調整用パターンを表示せず、外部信号を表示します。

ロック

設定	内容
オン	レンズをロックして、設定した調整状態から誤操作を防ぎます。 ・「オン」時は、レンズコントロール機能が操作できません。
オフ	レンズをロックしません。

レンズメモリー呼出 / レンズメモリー保存 / レンズメモリー編集

フォーカス、ズーム、シフトの調整内容を保存したり、呼び出したりできるので、アスペクト（画面サイズ）の異なる映像でも簡単に切り換えて投写できます。

➡「調整内容を保存･呼び出す」（p. 25）

レンズセンター

レンズの位置をセンター（中心位置）に戻します。

スライドカバー X95R X75R

設定	内容
オート	電源オン･オフに連動して、スライドカバーが開閉します。
オープン	電源オン･オフに関係なく、スライドカバーを常に開いたままにします。

画素調整

調整
調整機能の「オン」·「オフ」を設定します。

調整エリア

設定	内容
全エリア	画面全体を調整します。
ゾーン	画面を縦 11×横 11 分割して、位置ごとに詳細な調整ができます。

調整色
調整する色(「赤」または「青」)を選びます。

調整パターン色
調整パターンの色を「白」または「黄 / シアン」に設定します。

調整(画素)
「調整エリア」が「全エリア」に設定されているとき、「調整色」で選んだ色の画面全体の画素を 1 画素ごとに移動して調整します。
➡「全面調整(画素)の操作方法」(p. 54)
※「調整エリア」が「ゾーン」に設定されている場合は、調整できません。

設定	内容
H(水平)	設定値:-2(赤/青を左に移動) 〜 +2(赤/青を右に移動)
V(垂直)	設定値:-2(赤/青を下に移動) 〜 +2(赤/青を上に移動)

ファイン
「調整エリア」が「全エリア」に設定されているとき、「調整色」で選んだ色の画面全体の画素を 1/16 画素ごとに移動して微調整します。
➡「全面調整(ファイン)の操作方法」(p. 55)
「調整エリア」が「ゾーン」に設定されているときは、画面を縦 11×横 11 分割した位置ごとに詳細な調整ができます。
➡「部分調整(ゾーン調整)の操作方法」(p. 56)

設定	内容
H(水平)	設定値:-31(赤/青を左に移動) 〜 +31(赤/青を右に移動)
V(垂直)	設定値:-31(赤/青を下に移動) 〜 +31(赤/青を上に移動)

リセット
すべての画素調整データを工場出荷状態に戻します。

設置スタイル

プロジェクターの設置状態に合わせて、「フロント」、「天吊り(フ)」、「リア」、「天吊り(リ)」に設定します。

- 「フロント」または「天吊り(フ)」は、スクリーンに対して正面から投写するときに設定します。
- 「リア」または「天吊り(リ)」は、スクリーンに対して裏側から投写するときに設定します。

台形補正

スクリーンに対して、斜めに設置した際に生じる台形歪みを補正します。

- 水平方向の設定範囲：-40 ～ +40
- 垂直方向の設定範囲：-30 ～ +30

※ 3D 信号入力時は補正できません。

歪み補正

投写画面の歪みを補正します。

- 設定値：-20（糸巻き型）～ +20（樽型）

※ 3D 信号入力時は補正できません。

アナモフィック

アナモフィックレンズを使用するときに設定します。

設定	説明
A	2.35:1 の映像を縦方向のみ引き伸ばして投写します。
B	16:9 の映像を横方向のみ圧縮して投写します。
オフ	2.35:1 の映像をそのまま投写します。

スクリーン補正

使用するスクリーンの特性に合わせて最適な補正モードを設定すると、自然で色彩バランスのとれた映像に補正されます。

➡「スクリーン補正を設定する」（p. 28）

環境設定

視聴環境に合わせて「環境設定」を設定すると、自動で画質調整を行い、環境差を補正して画質に与える影響を最小限に抑えます。

➡「視聴環境に合った画質を自動調整する」（p. 27）

全面調整(画素)の操作方法

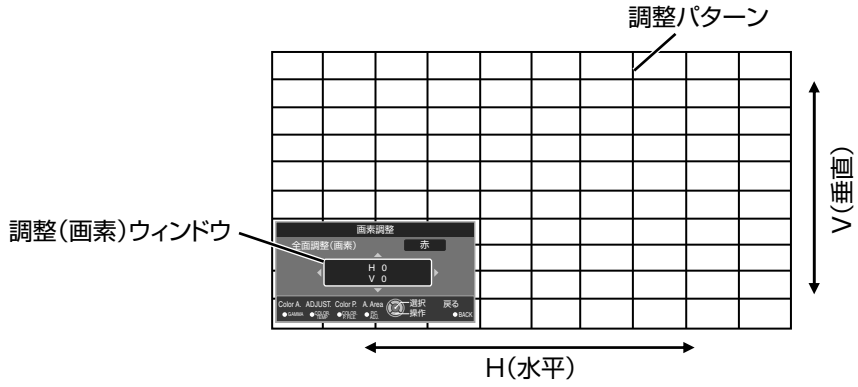
映像の水平方向·垂直方向のわずかな色ずれの大枠を調整します。

① 「調整エリア」を「全エリア」に設定する

② 「調整色」と「調整パターン色」を選ぶ

③ 「調整(画素)」を選び、[OK]ボタンを押す

- 選んだ調整パターンと調整(画素)ウィンドウが表示されます。



④ [OK]ボタンを押して、調整モードにする

⑤ [▲▼◀▶]キーで画面全体の水平·垂直の画素を動かして調整する

- 調整値が調整(画素)ウィンドウの中央に表示されます。

⑥ 調整が終わったら、[BACK]ボタンで調整モードを解除する

リモコン操作ガイド

ボタン名	操作内容
[GAMMA]	「調整色」を変更します。
[COLOR TEMP.]	「調整(画素)」と「ファイン」を切り換えます。 • 「調整エリア」が「ゾーン」の場合は、「調整(画素)」に切り換えます。
[COLOR P.FILE]	「調整パターン色」を変更します。
[PIC ADJ.]	「調整エリア」を切り換えます。 • 「ゾーン」に変更した場合は、調整パターン上にゾーンカーソルが表示されます。

全面調整(ファイン)の操作方法

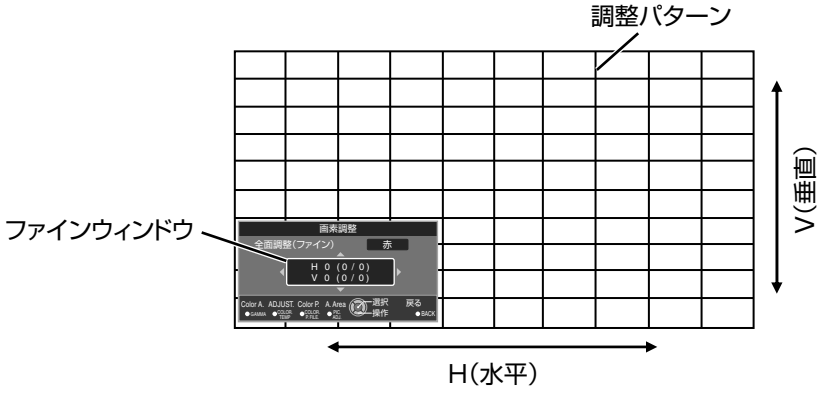
「調整(画素)」で画面全体のずれの大枠を調整した後に、微調整します。

① 「調整エリア」を「全エリア」に設定する

② 「調整色」と「調整パターン色」を選ぶ

③ ファインを選び、[OK]ボタンを押す

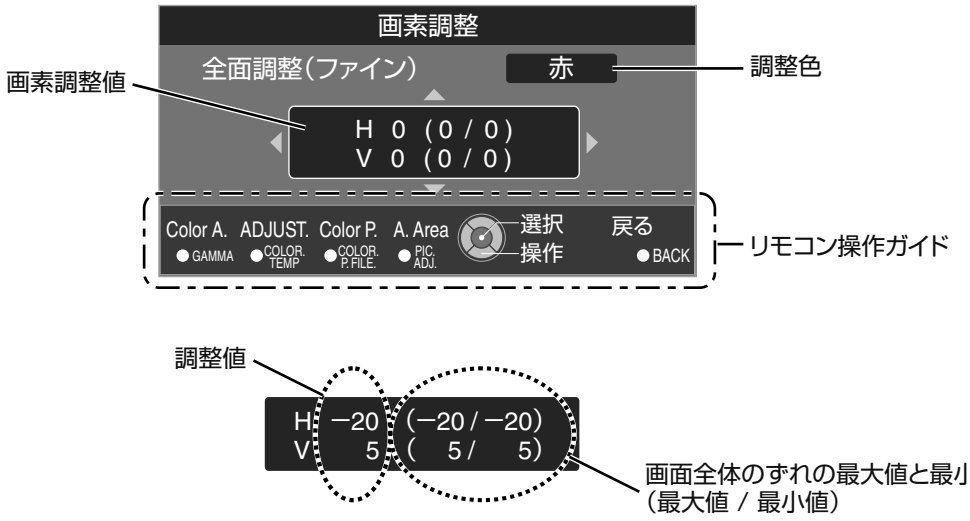
- 選んだ調整パターンとファインウィンドウが表示されます。
- 全面調整(画素)で調整した画素の量によっては、調整の範囲が狭くなる場合があります。



④ [OK]ボタンを押して、調整モードにする

⑤ [▲▼◀▶]キーで画面全体の水平・垂直の画素を動かして調整する

- 調整値がファインウィンドウの中央に表示されます。



⑥ 調整が終わったら、[BACK]ボタンで調整モードを解除する

MEMO

- H(水平方向)も V(垂直方向)も、それぞれの画面全体のずれの最大値が「31」の場合は、調整値がそれ以下であっても、表示されている調整値以上には調整できません。
- 画面全体のずれの最小値が「-31」の場合は、調整値がそれ以上であっても、表示されている調整値以下には調整できません。

部分調整(ゾーン調整)の操作方法

「調整(画素)」と「ファイン」で画面全体のずれを調整した後に、画面のずれている部分を微調整します。

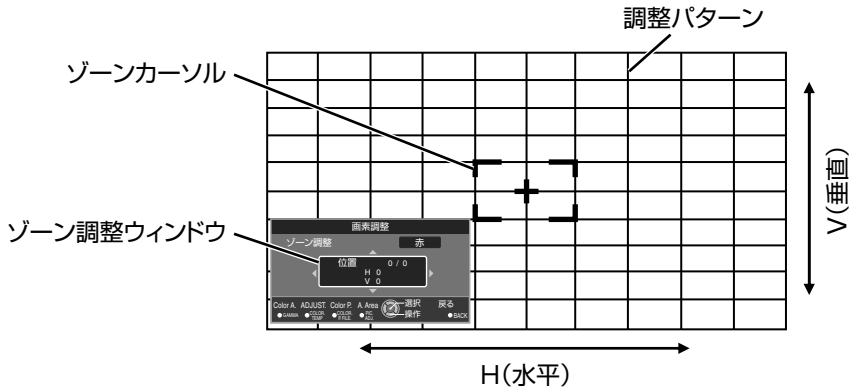
- 部分調整は、縦と横を 10 等分した位置で調整できます。

① 「調整エリア」を「ゾーン」に設定する

② 「調整色」と「調整パターン色」を選ぶ

③ ファインを選び、[OK]ボタンを押す

- 選んだ調整パターンとゾーン調整ウィンドウが表示されます。
- 全面調整(画素)で調整した画素の量によっては、調整の範囲が狭くなる場合があります。

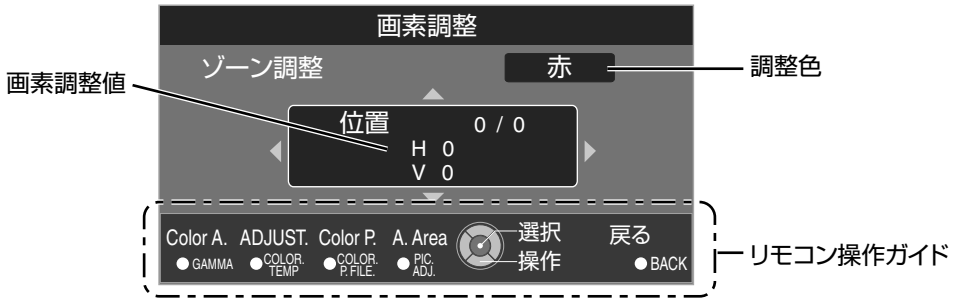


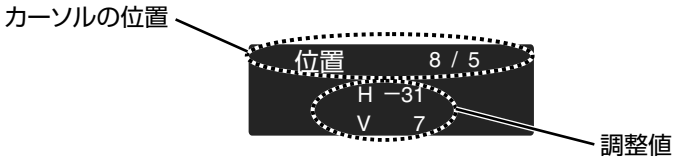
④ [▲▼◀▶]キーを押して、調整する場所にゾーンカーソルを移動する

⑤ [OK]ボタンを押して、調整モードにする

⑥ [▲▼◀▶]キーで画面全体の水平・垂直の画素を動かして調整する

- 調整値がゾーン調整ウィンドウの中央に表示されます。





⑦ 調整が終わったら、[BACK]ボタンで調整モードを解除する

表示設定

バックカラー

入力信号がないときに表示する背景色を「青」または「黒」に設定します。

メニュー位置

メニューの表示位置を設定します。

メニュー表示

設定	内容
15 秒	15 秒間操作がなかった場合、メニュー表示を消します。
オン	常に表示します。

ライン表示

設定	内容
5 秒	入力を切り換えたとき、入力端子名を 5 秒間表示します。
オフ	表示しません。

信号表示

設定	内容
オン	入力を切り換えたとき、入力信号の種類を表示します。
オフ	表示しません。

ロゴ

設定	内容
オン	起動時に「D-ILA」ロゴを 5 秒間表示します。
オフ	表示しません。

言語

表示言語は「日本語」のみです。
変更できません。

機能

トリガー

トリガー機能のある外部スクリーンなどへ 12 V 出力の設定をします。

設定	内容
オフ	出力しません。
オン(電源)	電源オン時にトリガー端子からコントロール信号(12 V)を出力します。 • 電源をオフすると、冷却後スタンバイに戻るときに出力をやめます。 • スタンバイ時に[OK]ボタンを押しても、出力します。
オン(アナモ)	「アナモフィック」を「オフ」から「A」もしくは「B」に設定したとき、コントロール信号を出力します。

オフタイマー

無操作時、自動的に電源がオフする時間(「1時間」、「2時間」、「3時間」、「4時間」)を設定します。

高地モード

気圧の低い場所(海抜 900 m 以上)で使用するときは、「オン」に設定します。

ECO Mode

設定	内容
オン	待機(スタンバイ)時の消費電力を抑えます。 • 投写中も無信号および無操作が 30 分続くと、自動的に電源がオフになります。
オフ	待機時に RS-232C / LAN 通信、HDMI リンク機能を使用する場合は、「オフ」に設定します。

通信端子

使用する外部制御端子を「RS-232C」または「LAN」に設定します。

ネットワーク

設定		内容
DHCP クライアント	オン	接続するネットワーク内の DHCP サーバーより、IP アドレスなどを自動で取得します。
	オフ	ネットワーク設定を手動で行います。
IP アドレス		IP アドレスを設定します。
サブネット マスク		サブネットマスクを設定します。
デフォルト ゲートウェイ		デフォルトゲートウェイを設定します。
MAC アドレス		本機の MAC アドレスを表示します。
セット		ネットワークの設定内容を反映します。

リモコンコード

リモコンのコードを変更します。

- 本体の設定に合わせて、リモコンの設定も必要です。
  リモコン側は、[MENU]ボタンと[BACK]ボタンを 3 秒以上押すことでコードが切り換わります。
  - リモコンのバックライトが 3 回点滅：リモコンコードを「A」に変更
  - リモコンのバックライトが 2 回点滅：リモコンコードを「B」に変更

設定	内容
A	リモコンコードを「B」から「A」へ変更します。
B	リモコンコードを「A」から「B」へ変更します。

ランプリセット

ランプの使用時間を「0」にリセットします。

➡「ランプ使用時間をリセットする」（p. 63）

ネットワーク用語説明

DHCP ： Dynamic Host Configuration Protocol の略称で、ネットワークに接続する機器に自動で IP アドレスを割り当てるプロトコルです。

IP アドレス ： ネットワークに接続された機器を識別するための数字です。

サブネット マスク ： IP アドレスから分割したネットワークアドレスに使用するビット数を定義する数字です。

デフォルト ゲートウェイ ： サブネットマスクによって分割したネットワークを越えて通信するためのサーバーです。

MAC アドレス ： Media Access Control アドレスの略称で、ネットワークアダプターごと固有の番号です。すべてのネットワークアダプターに 1 つずつ割り当てられています。

情報

ビデオ信号入力時

設定	内容
入力	映像入力端子を表示します。
ソース	入力ソースを表示します。
Deep Color	入力された映像信号の色のビット深度を表示します。 • YCbCr(4:2:2)を入力したときは、表示されません。 • ソース機器から Deep Color の情報があったときに表示されます。
ランプ時間	ランプ使用時間を表示します。
ソフト Ver.	ファームウェアのバージョンを表示します。

PC 信号入力時

設定	内容
入力	映像入力端子を表示します。
解像度	解像度を表示します。
水平周波数	水平周波数を表示します。
垂直周波数	垂直周波数を表示します。
Deep Color	入力された映像信号の色のビット深度を表示します。 • YCbCr(4:2:2)を入力したときは、表示されません。 • ソース機器から Deep Color の情報があったときに表示されます。
ランプ時間	ランプ使用時間を表示します。
ソフト Ver.	ファームウェアのバージョンを表示します。

ランプ交換のしかた

ランプは消耗品です。映像が暗くなったり、ランプが切れたときは、新しいランプユニットと交換してください。

- ランプ交換時間が近づくと画面上にメッセージが表示され、インジケーターでお知らせします。(p. 79)

ランプ交換の手順

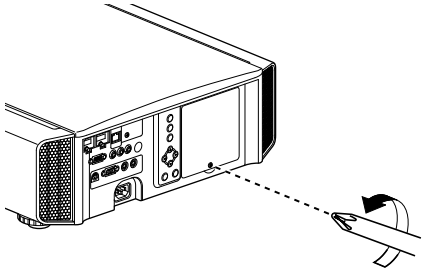
注意

- ランプ口に手を入れないでください。機器の著しい性能劣化、けがや感電の原因になります。
- 本機の使用直後には行わず、1 時間以上の冷却時間をおいてください。ランプが高温になっているため、やけどの原因になります。
- ランプユニットに衝撃を与えないでください。ランプが破裂する原因になります。
- 可燃性のエアダスターなどで本機内部を清掃しないでください。火災の原因となります。
- ランプユニットは純正品を使用してください。また、使用済みの古いランプユニットは絶対に使用しないでください。故障の原因になります。
- 新しいランプの表面に触らないでください。ランプの寿命が短くなったり、ランプが破裂する原因になります。
- ランプが破損している場合がありますので、ランプ交換時は、ケガなどに十分ご注意ください。
- 天吊り時でのランプ交換について高所での作業は危険ですので、サービス窓口へご相談ください。

1 電源プラグをコンセントから外す

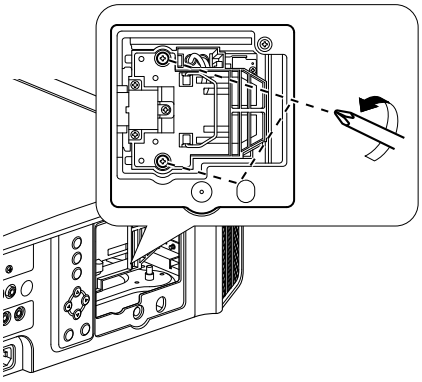
2 ランプカバーを外す

- ネジを ⊕ ドライバーで外します。



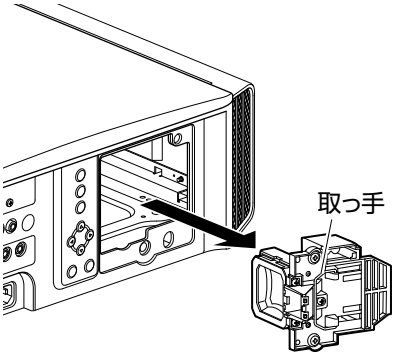
3 ランプユニットのネジを緩める

- ネジを ⊕ ドライバーで緩めます。

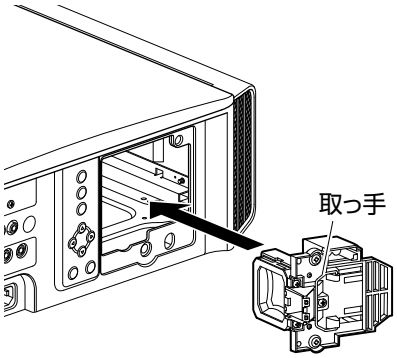


4 ランプユニットを取り出す

- 取っ手をつかんで取り出します。

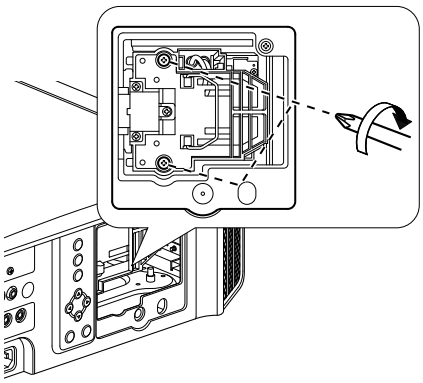


5 新しいランプユニットを取り付ける



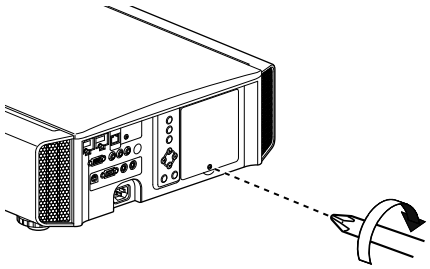
6 ランプユニットのネジを締める

• ネジを ⊕ ドライバーで締めます。



7 ランプカバーを取り付ける

• ランプカバー上下 2 か所のツメを先に本体に差し込んでください。
• ネジを ⊕ ドライバーで締めます。



お手入れ

MEMO

ランプの使用可能時間について

• 「ランプパワー」を「低」で使用した場合、本機に使用しているランプの使用可能時間は約 4000 時間です。これは平均的な使用可能時間であり、この時間を保証するものではありません。
• 使用条件によっては、4000 時間に満たないで使用できなくなることがあります。
• ランプの使用可能時間が少なくなると、ランプは急激に劣化します。
• 映像が暗くなったり、色合いがおかしくなったり、映像が瞬くように明滅するようになった場合は、早めに新しいランプユニットと交換してください。

ランプユニットの購入は

お買い上げの販売店、またはお近くのサービス窓口にご相談ください。

• ランプユニット
品番：PK-L2312U

※ 他の品番・機種用のランプはご使用いただけません。

ランプに関するお知らせ

プロジェクターには、内部圧力の高い超高圧水銀ランプを使用しています。

このランプは、その性質上、衝撃や使用時間の経過により大きな音を伴って破裂したり、不点灯状態になることがあります（破裂したり、不点灯に至るまでの時間は、ランプの個体差や使用条件によって大きな差があります）。

ランプを交換したあとは

• 取り外したランプユニットを、お子様の手の届くところや燃えやすいものの近くに置かないでください。
• 使用済みのランプユニットは、蛍光灯と同じ扱いで廃棄してください。廃棄については、お住まいの自治体の指示に従ってください。

ランプ使用時間をリセットする

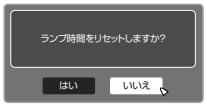
メニュー画面からランプ時間をリセットする

1 [MENU]ボタンを押して、メニューを表示する

2 メニューの「機能」→「ランプリセット」を選ぶ

3 ランプ時間をリセットしますか？画面ではいを選んで、OK ボタンを押す

- ランプ時間がゼロにリセットされます。

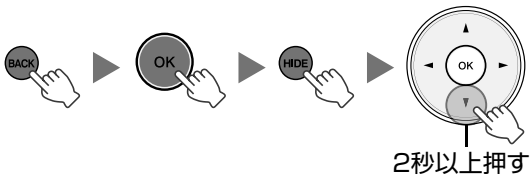


リモコンからランプ時間をリセットする

1 電源プラグをコンセントに差し込む

2 必ずスタンバイ状態で（電源プラグをコンセントに差し込んで、電源をオンしない状態で）リモコンを操作する

- 順番に押します。
- 各ボタンを押す間隔は、2 秒以内に押してください。
  最後のボタンは 2 秒以上押してください。



- 「LAMP」インジケーターと「STANDBY/ON」インジケーターが交互に３秒間点滅します。その後、スタンバイ状態になります。

MEMO

- ランプ使用時間のリセットは、新しいランプに交換したときのみ行ってください。
  途中でリセットを行うと、ランプ交換時間の目安が不明となり、目安時間を超えて使用してしまい、破裂の原因となります。

キャビネット、リモコンのお手入れ

- 柔らかい布で軽くふき取ってください。
- 汚れがひどいときは、水でぬらした布を良く絞ってふき取り、乾いた布で乾拭きしてください。
- キャビネットが変質したり、塗料がはげることがありますので、次のことに注意してください。
  - シンナーやベンジンで拭かない
  - ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしない
  - 殺虫剤など揮発性のものをかけない

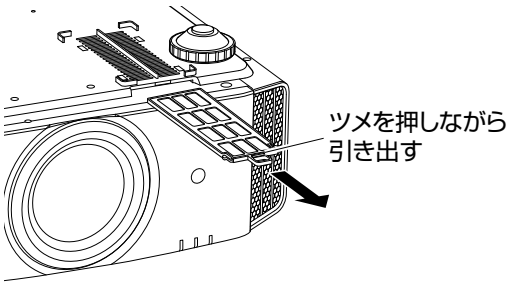
フィルターの掃除と交換のしかた

フィルターは定期的に掃除してください。汚れていると吸気効率が悪くなり、故障の原因になります。

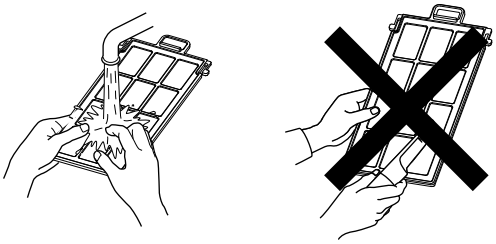
注意

- 掃除、交換前には必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 本機を裏返して、床や机の上などに置くときは、傷などを防ぐために柔らかい布などを敷いてから置いてください。

1 インナーフィルターを外す

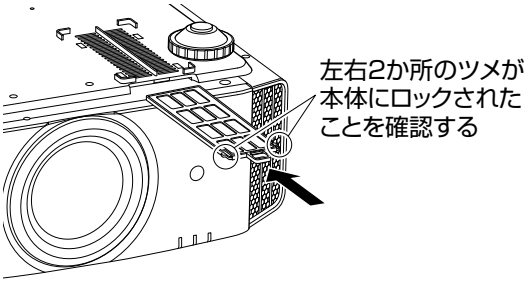


2 フィルターを掃除する



- 水で洗い、日陰で乾かしてください。
- 汚れがひどいときは中性洗剤を使ってください。中性洗剤を使用するときは、ゴム手袋を着用してください。
- 水洗いしたときは、完全に乾かしてから取り付けてください。ぬれたまま取り付けると感電や故障の原因になります。
- フィルターを掃除機やエアダスターなどで掃除しないでください。フィルターは柔軟なため、損傷する原因になります。

3 インナーフィルターを取り付ける



汚れがきれいにならないときや、損傷したときは

- 新しいフィルターと交換してください。そのまま使用すると本機内部にゴミが入り、映像に影が現れることがあります。
- フィルターの購入や内部にゴミが入った場合は、お買い上げの販売店、またはお近くのサービス窓口にご相談ください。
- インナーフィルター（交換フィルター）
  品番：PC010661199

故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に、次の点を確認してください。
こんなときは故障ではありません。

下記のような場合でも、画面に異常がなければ心配ありません。

- 本体の上面や前面の一部が熱くなっている場合
- 本体から「ミシッ」という音がする場合
- 本体の内部から動作音が聞こえる場合
- 画面によっては色にじみが出る場合

本機はデジタル機器のため、静電気やノイズなどにより正常に動作しなくなる場合があります。
そのようなときには、次の操作を行ってください。

① スタンバイ状態のときに電源プラグを 1 度抜いてから、再び差し込む

② 本体の ⏻/I [STANDBY/ON]ボタンを押して電源を入れ直す

「高地モード」が「オン」のときや 3D モードなどで「ランプパワー」が「高」のときはファンが高速で回るため、通常より音が大きくなります。

電源が入らない

確認	対処	参照ページ
電源コードが外れていませんか？	電源コード（プラグ）をしっかり差し込んでください。	p. 21
ランプカバーは正しく閉めましたか？	スタンバイ状態のときに電源プラグを外し、ランプカバーを正しく閉めてください。その後、電源プラグを差し込んでください。	p. 62
ランプが冷却中ではありませんか？	クールダウンモードが終了してから、もう一度電源を入れてください。	p. 23

電源を入れて投写するが、数分後に切れてしまう

確認	対処	参照ページ
吸気口や排気口をふさいでいませんか？	正しい間隔を空けて、設置してください。	p. 10、11 p. 15
フィルターが汚れていませんか？	フィルターを清掃してください。	p. 64

映像が出ない

確認	対処	参照ページ
正しい外部入力を選んでいますか？	正しい外部入力端子を選んでください。	p. 22
AV 機器の電源は入っていますか？	AV 機器の電源を入れて、再生してください。	p. 18
AV 機器を正しく接続していますか？	AV 機器を正しく接続してください。	p. 18
AV 機器から正しい信号が出ていますか？	AV 機器を正しく設定してください。	p. 18
HDMI 規格を取得したケーブルをお使いですか？	HDMI 規格を取得したハイスピードケーブルをお使いください。また、できるだけ短いケーブルをお使いください。	p. 18
「HDMI 機器制御」が「オン」になっていませんか？	「HDMI 機器制御」を「オン」にしたときに映像が出ない場合は、設定を「オフ」にして、もう一度本機および外部機器の電源を入れてください。	p. 49
映像を一時的に消していませんか？	[HIDE]ボタンを押してください。	p. 22

リモコンが動かない

確認	対処	参照ページ
乾電池は正しく入っていますか？	乾電池の極性(⊕⊖)を正しく入れてください。	p. 14
乾電池が消耗していませんか？	新しい乾電池に交換してください。	p. 14
リモコンとリモコン受光部との間に遮へい物はありませんか？	遮へい物を取り除いててください。	p. 14
距離が離れすぎていませんか？	近づいて送信してください。	p. 14
IR(赤外線)3D メガネと 3D シンクロエミッターをお使いですか？	信号が干渉している可能性がありますので、IR(赤外線)3D メガネと 3D シンクロエミッターをお使いの場合は、3D シンクロエミッターの向きを調整してみてください。	p. 30

3D 映像が見られない

確認	対処	参照ページ
3D メガネの電源は入っていますか？	3D メガネの PK-AG2 と PK-AG3 は手動で電源をオンしてください。	3D メガネ、または 3D シンクロエミッターの取扱説明書をご確認ください。
3D メガネは充電されていますか？	3D メガネの電池(充電)を確認してください。	
3D メガネと 3D シンクロエミッターの距離が離れすぎていませんか？	適切な距離に配置してください。	
正しい 3D フォーマットに設定していますか？	自動で切り換わらない場合は、設定メニューの 3D フォーマットを設定してください。	p. 31

色が出ない、おかしい

確認	対処	参照ページ
AV 機器を正しく接続していますか？	AV 機器を正しく接続してください。	p. 18
映像調整は正しいですか？	「色のこさ」や「色あい」を調節してください。	p. 46
入力信号のカラースペースは正しいですか？	「カラースペース」を正しく設定してください。	p. 49

映像がぼやける

確認	対処	参照ページ
フォーカス(焦点)は合っていますか？	フォーカスを調整してください。	p. 24
距離が近すぎたり、遠すぎたりしませんか？	正しい距離に設置してください。	p. 75

映像が欠ける

確認	対処	参照ページ
画面マスクを設定していませんか？	「画面マスク」を「オフ」にしてください。	p. 50
表示位置がずれていませんか？	「表示位置」の値を変え、映像が欠けないように調整してください。	p. 50

映像が暗い

確認	対処	参照ページ
ランプの寿命が近づいていませんか？	「情報」メニューでランプの使用時間を確認してください。ランプの寿命が近いときは、新しいランプユニットを準備するか、早めに交換してください。	p. 60 p. 61
画質調整は正しいですか？	「画質調整」や「レンズアパーチャー」を調整してください。	p. 33 p. 48

突然電源が切れた

確認	対処	参照ページ
「オフタイマー」を設定していませんか？	「オフタイマー」を「オフ」にしてください。	p. 58
「ECO Mode」を設定していませんか？	「ECO Mode」を「オフ」にしてください。	p. 58

レンズカバーが閉まらない

確認	対処	参照ページ
「スライドカバー」の設定が「オープン」になっていませんか？	設定メニュー「レンズコントロール」の「スライドカバー」を「オート」にしてください。	p. 51

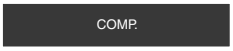
内部冷却ファンの音が大きい

確認	対処	参照ページ
排気口がふさがっていませんか？ 暖房器具やエアコンが近くにありませんか？	設置状態をご確認ください。	p. 4 p. 15

画面に小さい黒点や色のついた点が見える

D-ILA 素子は高精度技術で製造されていますが、0.01%以内で画素欠けや常時点灯する画素があります。故障ではありません。

こんな表示がされたら

メッセージ	内容	対処
	• 入力端子に何も接続されていない • 入力端子が接続されているが、信号がない	映像信号を入力してください。
	本機で使用できない映像信号が入力されている（「COMP.」などの入力端子名は黄色で表示されます）	使用できる映像信号を入力してください。
	ランプ使用時間が 2900 時間を過ぎると表示されます。[BACK]ボタンを押すと、メッセージは消えます。	新しいランプユニットを準備し、早めに交換した上で、ランプ時間をリセットしてください。（p. 61、63）

保証とアフターサービス

保証書と補修用性能部品について

保証書(別添付)

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
DLA-X95Rの保証期間はお買い上げの日から 3年間です。
DLA-X75R、DLA-X55Rの保証期間はお買い上げの日から 1年間です。

- 光源ランプの保証期間については、保証書をご覧ください。

補修用性能部品の最低保有期間

当社は、プロジェクターの補修用性能部品を、製造打ち切り後、最低 8年間は保有しています。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるときは

65～67ページに従って調べていただき、なお異常のあるときは、電源を切り、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

保証期間中は

修理の際は保証書をご提示ください。 保証書の規定に従って販売店及び、当社のサービス会社が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。

修理料金のしくみ

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機械設備費、一般管理費が含まれています。
部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材などを含む場合もあります。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。 別途、駐車料金をいただく場合があります。

ご連絡していただきたい内容

品名	D-ILAプロジェクター
型名	DLA-X95R、DLA-X75R、DLA-X55R
ご住所・お名前	付近の目印なども
お買い上げ日	年　　月　　日
故障の状況	できるだけ具体的に
電話番号	(　　)　　-

愛情点検

- 長年ご使用の本機の点検をぜひ!

熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合により部品が劣化し、故障したり、時には安全性を損なって事故につながることもあります。

このような症状はありませんか？

- 電源を入れても映像が出ない。
- 上下、または左右の映像が欠けて映る。
- 映像がときどき、消えることがある。
- 変なにおいがしたり、煙が出たりする。
- 電源を切っても、映像が消えない。

▼

ご使用を中止してください

故障や事故防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグをはずし、必ず販売店に点検をご相談ください。

お客様の個人情報のお取り扱いについて

ご相談窓口におけるお客様の個人情報につきましては、株式会社ＪＶＣケンウッドおよびＪＶＣケンウッドグループ関係会社(以下、当社)にて、下記のとおり、お取り扱いいたします。

- お客様の個人情報は、お問い合わせへの対応、修理およびその確認連絡に利用させていただきます。
- お客様の個人情報は、適切に管理し、当社が必要と判断する期間、保管させていただきます。
- 次の場合を除き、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。
  ① 上記利用目的のために、協力会社に業務委託する場合。当該協力会社に対しては、適切な管理と利用目的外の使用をさせない措置をとります。
  ② 法令に基づいて、司法、行政またはこれに類する機関から情報開示の要請を受けた場合。
- お客様の個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきましたご相談窓口にご連絡ください。

サービス窓口のご案内

サービス窓口案内

製品のアフターサービスはお買い上げの販売店へご用命ください

ご贈答品等で保証書記載のお買い上げ販売店にアフターサービスをご依頼になれない場合は、機種名をご確認の上、最寄りの「ご相談窓口」にご相談ください。

●修理についてのご相談窓口

ビクターサービスエンジニアリング株式会社

都府県名	窓口名	TEL	所在地
北海道			
北海道	札　幌S.C.	(011)898-1180	札幌市厚別区厚別東五条一丁目2-29
東北			
青森 秋田 岩手 宮城 山形	仙　台S.C.	(022)287-0151	仙台市若林区六丁の目西町7-13
福島	郡　山S.S.	(024)952-6331	郡山市堤一丁目3
関東・甲信越			
新潟	新　潟S.C.	(025)242-3431	新潟市中央区鐙一丁目5-23
埼玉 群馬 栃木	さいたまS.C.	(048)654-5241	さいたま市北区宮原町一丁目202
千葉 茨城	千　葉S.C.	(043)202-0263	千葉市中央区中央三丁目9-16 三井生命千葉中央ビル1F
	柏　S.C.	(04)7175-4322	柏市豊四季512-10-67
神奈川	横　浜S.C.	(045)937-7185	横浜市緑区白山一丁目16-2 JVCケンウッド白山事業所1F
東京 長野 山梨	東　京S.C.	(03)6381-8400	江東区平野3-2-6 木場パークビル1F
	八王子S.C.	(042)646-6914	八王子市石川町2967-3 JVCケンウッド八王子事業所A棟1F
東海・北陸			
静岡	静　岡S.S.	(054)262-8941	静岡市葵区沓谷五丁目61-1
愛知 岐阜 三重	名古屋S.C.	(0568)25-3235	北名古屋市九之坪鴨田121-1
石川 富山 福井	金　沢S.S.	(076)269-4821	金沢市新保本四丁目65-17

都府県名	窓口名	TEL	所在地
近畿			
大阪 京都 兵庫 滋賀 奈良 和歌山	大　阪S.C.	(06)6304-5735	大阪市淀川区田川ニ丁目4-28
中国・四国			
広島 岡山 山口 島根 鳥取 愛媛	広　島S.C.	(082)243-9839	広島市中区光南三丁目9-17
香川 高知 徳島	高　松S.S.	(087)866-1200	高松市田村町205-1
九州・沖縄			
福岡 佐賀 長崎 大分 熊本 宮崎	福　岡S.C.	(092)707-0500	福岡市博多区沖浜町11-10 サンイースト福岡3F
鹿児島	鹿児島S.S.	(099)268-0030	鹿児島市小松原1-5-17
沖縄	沖　縄S.C.	(098)898-3631	宜野湾市真志喜一丁目11-12 コモンズビル1F
【業務用機器専門】のご相談窓口：J＆Kビジネスソリューション株式会社			
カスタマーサポートセンター		(045)939-7320	横浜市緑区白山一丁目16-2 JVCケンウッド白山事業所2F

(1012)

所在地、電話番号が変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。
※略号について　S.C.はサービスセンター、S.S.はサービスステーションの略称です。

●出張修理のご依頼およびビクター製品についてのご相談窓口

出張修理のご依頼、お買い物相談、お取り扱い方法、お手入れ方法その他ご不明な点は、下記にご相談ください。

JVCケンウッド カスタマーサポートセンター	(0120)2727-87 (フリーダイヤル)	携帯電話・PHS・一部のIP電話などからのご利用は下記の番号へおかけ願います。		
		(045)450-8950	〒221-0022	横浜市神奈川区守屋町3丁目12

(注)発信者番号通知が非通知でフリーダイヤルへおかけの場合は、はじめに『186』を付けて、『186-0120-2727-87』とダイヤルしてください。

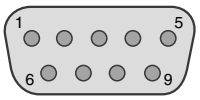
外部制御

本機とパーソナルコンピューターを RS-232C クロスケーブル（D-Sub9 ピン）で接続すると、本機を制御できます。また、コンピューターネットワークを経由して、外部のパーソナルコンピューターと LAN ケーブルで接続し、制御コマンドを送ることで本機を制御することもできます。

- システムの管理者に相談するか、専門書などを読んで、ご理解した上でご利用ください。

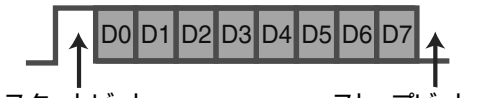
RS-232C 仕様

本機側



ピン No.	信号	動作	信号の方向
2	RxD	受信データ	PC → 本機
3	TxD	送信データ	本機 → PC
5	GND	シグナルグランド	—
1, 4, 6 - 9	N/C	—	—

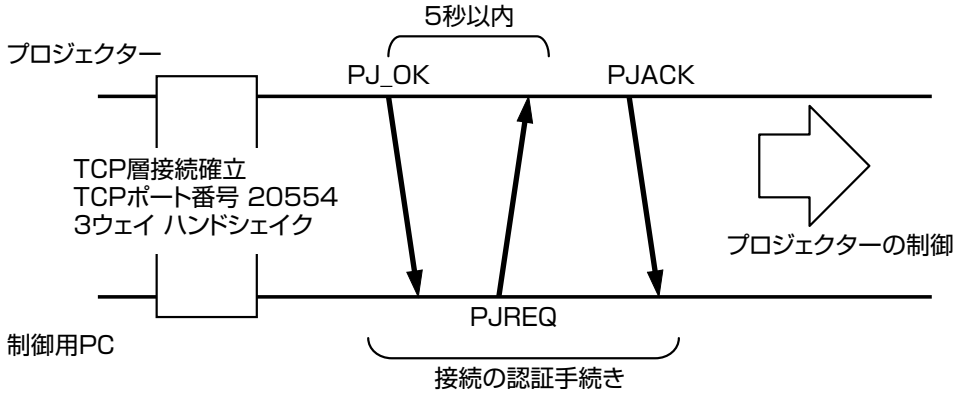
- PC は、パーソナルコンピューターなどのコントローラーの意味です。



モード	非同期
キャラクター長	8 ビット
パリティ	なし
スタートビット	1
ストップビット	1
データ速度	19200 bps
データ形式	バイナリ

TCP/IP 接続

LAN で制御する前に、「3 ウェイ ハンドシェイク（3way handshake）」で TCP 層の接続を確立し、接続認証のためにプロジェクターからの「PJ_OK」の送信後 5 秒以内に「PJREQ」を送り、「PJACK」を受信する必要があります。
5 秒以内に送信できなかったり、「PJ_NG」、「PJNAK」を受信した場合は、プロジェクターの動作状況などを確認した上で再度、TCP 層接続の確立から実施してください。



コマンドフォーマット

本機とパソコン間のコマンドは、「ヘッダー」、「ユニット ID」、「コマンド」、「データ」、「終了」の 5 種類で構成されています。

- ヘッダー(1 バイト)・ユニット ID(2 バイト)・コマンド(2 バイト)・データ(n バイト)・終了(1 バイト)

ヘッダー

通信の開始を示すバイナリコードです。

バイナリコード	種別	説明
21	操作コマンド	PC → 本機
3F	参照コマンド	PC → 本機
40	応答コマンド	本機 → PC
06	ACK	本機 → PC(コマンドを正常に受け付けたときに、PC へ返す)

ユニット ID

本機を指定するコードです。バイナリコードは「8901」固定です。

コマンドとデータ

操作コマンドとデータ(バイナリコード)

コマンド	種類	データ説明
0000	接続確認	スタンバイ時に、本機と PC 間で通信ができるかを確認します。
5057	電源	スタンバイ時 31:電源をオンにします。 電源オン時 30:電源をオフにします。(スタンバイ状態)
4950	入力	電源オン時 32:COMP. 33:PC X95R X75R 36:HDMI 1 37:HDMI 2
5243	リモコン	付属のリモコンと同じコードを送ります。 • 「リモコンコード」 p. 72

操作コマンドとデータ(バイナリコード)

コマンド	種類	データ説明
5057	電源	スタンバイまたは電源オン時 30:スタンバイ状態 31:電源オン状態 32:クールダウンモード中 34:本機の異常時
4950	入力	電源オン時 32:COMP. 33:PC X95R X75R 36:HDMI 1 37:HDMI 2

終了

通信の終了を示すコードです。バイナリコードは「0A」固定です。

リモコンコード

通信するときは、バイナリコードで送信します。

• リモコンコードが「A」の場合です。「B」の場合は、コードの先頭を「36」にしてください。

リモコンボタン名称	バイナリコード
STAND BY	37 33 30 36
ON	37 33 30 35
HDMI 1	37 33 37 30
HDMI 2	37 33 37 31
COMP.	37 33 34 44
PC X95R X75R	37 33 34 36
3D FORMAT	37 33 44 36
3D SETTING	37 33 44 35
LENS CONTROL	37 33 33 30
LENS MEMORY	37 33 44 34
LENS AP.	37 33 32 30
ANAMO.	37 33 43 35
HIDE	37 33 31 44
▲	37 33 30 31
▼	37 33 30 32
▶	37 33 33 34
◀	37 33 33 36
OK	37 33 32 46

リモコンボタン名称	バイナリコード
MENU	37 33 32 45
BACK	37 33 30 33
FILM	37 33 36 39
CINEMA	37 33 36 38
ANIME	37 33 36 36
NATURAL	37 33 36 41
STAGE	37 33 36 37
3D	37 33 38 37
THX X95R X75R	37 33 36 46
USER	37 33 44 37
C.M.D.	37 33 38 41
MPC	37 33 46 30
GAMMA	37 33 37 35
C. TEMP	37 33 37 36
COLOR PROFILE	37 33 38 38
PIC. ADJ.	37 33 37 32

通信例

RS-232C の通信例を示します。

操作コマンド

種別	コマンド	説明
接続確認	PC → 本機:21 89 01 00 00 0A 本機 → PC:06 89 01 00 00 0A	接続を確認
電源(オン)	PC → 本機:21 89 01 50 57 31 0A 本機 → PC:06 89 01 50 57 0A	スタンバイ状態から電源をオンにしたとき
電源(オフ)	PC → 本機:21 89 01 50 57 30 0A 本機 → PC:06 89 01 50 57 0A	電源オン状態から電源をオフ(スタンバイ状態)にしたとき
入力(COMP.)	PC → 本機:21 89 01 49 50 32 0A 本機 → PC:06 89 01 49 50 0A	映像入力をコンポーネントにしたとき
リモコン(MENU)	PC → 本機:21 89 01 52 43 37 33 32 45 0A 本機 → PC:06 89 01 52 43 0A	リモコンの[MENU]ボタンを押したときと同じ動作をさせたとき

参照コマンド

種別	コマンド	説明
電源(オン)	PC → 本機:3F 89 01 50 57 0A 本機 → PC:06 89 01 50 57 0A 本機 → PC:40 89 01 50 57 31 0A	電源オン状態の情報を得たとき
入力(HDMI 1)	PC → 本機:3F 89 01 49 50 0A 本機 → PC:06 89 01 49 50 0A 本機 → PC:40 89 01 49 50 36 0A	HDMI 1 入力の情報を得たとき

主な仕様

品名		D-ILA プロジェクター
型名		DLA-X95R-B、DLA-X75R-B、DLA-X55R-B/W※1
表示パネル／サイズ		D-ILA 素子※2、3 0.7 型（1980×1080 画素）×3 枚（総画素：約 622 万画素）
投写レンズ		2.0 倍電動ズームレンズ（1.4:1～2.8:1）ズーム・フォーカス電動
光源ランプ		230 W 超高圧水銀ランプ [型番：PK-L2312U] 平均使用可能時間：4000 時間（「低」モード）
対応画面サイズ		約 60～200 型（アスペクト比 16:9）
投写距離		p. 75 をご覧ください。
入力対応信号		p. 77 をご覧ください。
表示解像度		3840×2160 画素※4
入力端子	コンポーネント映像入力	1 系統、RCA ピンジャック×3 Y：1.0 Vp-p、75Ω Pb/Cb, Pr/Cr：0.7 Vp-p、75Ω R/G/B Sync on G にも対応
	HDMI 入力	2 系統、HDMI 19 ピン×2（HDCP に対応）※5
	PC 入力	1 系統、D-sub 15 ピン VGA（X95R X75R）
出力端子	トリガー端子	1 系統、Ø 3.5 mm DC Power Jack（⊖-C-⊕） DC OUT 12 V、0.1 A
	3D シンクロ	3D シンクロエミッター専用端子（1 系統、ミニ DIN 3pin）
制御端子	RS-232C 端子	1 系統、D-sub 9 ピン（オス）（外部コントロール）
	リモート端子	1 系統、ステレオミニジャック（リモコン）
	LAN 端子	1 系統、RJ-45 プラグ
使用電源		AC 100 V、50/60 Hz
消費電力		360 W（待機時：0.4 W）
使用環境		温度：5～35°C、湿度：20～80%（非結露）、保存温度：-10～60°C
設置高度		5000ft（1524 m）以下
外形寸法（横幅×高さ×奥行）		約 455 mm×179 mm×472 mm（フット、突起除く）
質量		15.4 kg（X95R X75R） 15.1 kg（X55R）
付属品		p. 3 をご覧ください。

※1 -W は本体色が白色系です。-B は本体色が黒色系です。

※2 D-ILA とは、Direct drive Image Light Amplifier の略称です。

※3 D-ILA 素子は非常に精度の高い技術で作られており、99.99%の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものがありますので、あらかじめご了承ください。

※4 3D 再生時は、1920×1080 画素表示になります。

※5 HDCP とは、High-bandwidth Digital Content Protection system の略称です。HDCP 規格変更などにより HDMI 入力端子の映像が表示されないことがあります。

- 仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。
- このプロジェクターを使用できるのは日本国内のみで、外国では電源電圧が異なりますので使用できません。
  This projector is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.
- 写真や図は説明をわかりやすくするために、誇張・省略・合成をしています。実物とは多少異なりますのでご了承ください。
- 本機は「JIS C61000-3-2 適合品」です。

商標と著作権について

HDMI、HDMI ロゴおよび高品位マルチメディアインターフェイスは、HDMI Licensing LLC の商標または登録商標です。

画面サイズと投写距離

16:9 スクリーン使用時

画面サイズ			投写距離	
対角(型)	横幅(mm)	高さ(mm)	ワイド端(m)	テレ端(m)
60	1328	747	1.78	3.66
70	1549	872	2.09	4.28
80	1771	996	2.4	4.89
90	1992	1121	2.7	5.51
100	2214	1245	3.01	6.13
110	2435	1370	3.31	6.75
120	2656	1494	3.62	7.36
130	2878	1619	3.92	7.98
140	3099	1743	4.23	8.60
150	3320	1868	4.53	9.22
160	3542	1992	4.84	9.84
170	3763	2117	5.14	10.45
180	3984	2241	5.45	11.07
190	4206	2366	5.75	11.68
200	4427	2490	6.06	12.30

4:3 スクリーン使用時

画面サイズ			投写距離	
対角(型)	横幅(mm)	高さ(mm)	ワイド端(m)	テレ端(m)
60	1219	914	2.22	4.49
70	1422	1067	2.60	5.24
80	1626	1219	2.98	6.00
90	1829	1372	3.36	6.75
100	2032	1524	3.74	7.51
110	2235	1676	4.11	8.26
120	2438	1829	4.49	9.02
130	2642	1981	4.87	9.77
140	2845	2134	5.25	10.53
150	3048	2286	5.63	11.28
160	3251	2438	6.00	12.04

※ 163inch 以上の 4:3 スクリーンへの投写は、16:9 で 200 インチ相当以上になるため、保証範囲外となります。

2.35:1 スクリーン使用時

画面サイズ			投写距離	
対角(型)	横幅(mm)	高さ(mm)	ワイド端(m)	テレ端(m)
60	1402	597	1.95	3.91
70	1636	696	2.28	4.56
80	1870	796	2.60	5.21
90	2103	895	2.93	5.86
100	2337	995	3.26	6.51
110	2571	1094	3.58	7.16
120	2805	1193	3.91	7.81
130	3038	1293	4.23	8.47
140	3272	1392	4.56	9.12
150	3506	1492	4.88	9.77
160	3740	1591	5.21	10.42
170	3973	1691	5.53	11.07
180	4207	1790	5.86	11.72
190	4441	1890	6.19	12.37
200	4674	1989	6.51	13.02

入力可能な信号の種類

ビデオ

アナログビデオ信号		480i、480p、576i、576p、720p/50 Hz、720p/60 Hz、1080i/50 Hz、1080i/60 Hz
デジタルビデオ信号		480i、480p、576i、576p、720p/50 Hz、720p/60 Hz、1080i/50 Hz、1080i/60 Hz、1080p/24 Hz、1080p/50 Hz、1080p/60 Hz
3D 信号	フレームパッキング	720p/50 Hz、720p/60 Hz、1080p/24 Hz、1080i/50 Hz、1080i/60 Hz
	サイドバイ サイド	1080i/60 Hz、1080p/60 Hz、1080i/50 Hz、1080p/50 Hz、1080p/24 Hz、720p/50 Hz、720p/60 Hz
	トップアンドボトム	720p/50 Hz、720p/60 Hz、1080p/24 Hz

PC 信号（HDMI）

No.	名称	解像度	fh [kHz]	fv [Hz]	dot CLK [MHz]	総ドット数 [dot]	総ライン数 [line]	有効ドット数 [dot]	有効ライン数 [line]
1	VGA 60	640×480	31.500	60.000	25.200	800	525	640	480
2	VGA 59.94	640×480	31.469	59.940	25.175	800	525	640	480
3	SVGA 60	800×600	37.879	60.317	40.000	1,056	628	800	600
4	XGA 60	1024×768	48.363	60.004	65.000	1,344	806	1,024	768
5	WXGA 60	1280×768	47.760	60.000	79.998	1,675	796	1,280	768
6	WXGA+ 60	1440×900	55.919	59.999	106.470	1,904	932	1,440	900
7	SXGA 60	1280×1024	63.981	60.020	108.000	1,688	1,066	1,280	1,024
8	WSXGA+ 60	1680×1050	65.222	60.002	147.140	2,256	1,087	1,680	1,050
9	WUXGA 60	1920×1200	74.038	59.95	154.000	2,080	1,235	1,920	1,200

PC 信号（D-sub 3 列 15 ピン）

No.	名称	解像度	fh [kHz]	fv [Hz]	dot CLK [MHz]	総ドット数 [dot]	総ライン数 [line]	有効ドット数 [dot]	有効ライン数 [line]
1	VGA 60	640×480	31.500	60.000	25.175	800	525	640	480
2	VGA 72	640×480	37.900	72.000	31.500	832	520	640	480
3	VGA 75	640×480	37.500	75.000	31.500	840	500	640	480
4	VGA 85	640×480	43.300	85.000	36.000	832	509	640	480
5	SVGA 56	800×600	35.200	56.000	36.000	1024	625	800	600
6	SVGA 60	800×600	37.900	60.000	40.000	1056	628	800	600
7	SVGA 72	800×600	48.100	72.000	50.000	1040	666	800	600
8	SVGA 75	800×600	46.900	75.000	49.500	1056	625	800	600
9	SVGA 85	800×600	53.700	85.000	56.250	1048	631	800	600
10	XGA 60	1024×768	48.400	60.000	65.000	1344	806	1024	768
11	XGA 70	1024×768	56.500	70.000	75.000	1328	806	1024	768
12	XGA 75	1024×768	60.000	75.000	75.750	1312	800	1024	768
13	XGA 85	1024×768	68.700	85.000	94.500	1376	808	1024	768
14	WXGA 60	1280×768	47.760	60.000	79.998	1675	796	1280	768
15	WXGA+ 60	1440×900	55.919	59.999	106.470	1904	932	1440	900
16	SXGA 60	1280×1024	64.000	60.000	108.000	1688	1066	1280	1024
17	SXGA+ 60	1400×1050	63.981	60.020	108.000	1688	1066	1400	1050
18	WSXGA+ 60	1680×1050	65.222	60.002	147.140	2256	1087	1680	1050
19	1920×1080 60	1920×1080	67.500	60.00	148.500	2200	1125	1920	1080
20	MAC13"	640×480	35.000	66.667	30.240	864	525	640	480
21	MAC16"	832×624	49.107	75.087	55.000	1120	654	832	624
22	MAC19"	1024×768	60.241	74.927	80.000	1328	804	1024	768

※ 入力可能な信号でも、お使いの PC やケーブルによっては正常に写らないことがあります。正常に写らない場合はほかの対応解像度に変えるか、ケーブルを変えると映る場合があります。

本体インジケーターの表示について

発光の図の意味

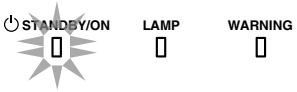
インジケーターの点灯を表します。

インジケーターの点滅を表します。

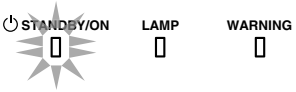
動作モードの表示

「STANDBY/ON」インジケーターの色と点灯・点滅で表示します。

「STANDBY/ON」点灯（赤）
スタンバイ状態のとき

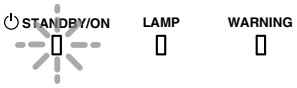


「STANDBY/ON」点灯（緑）
ランプ起動中のとき

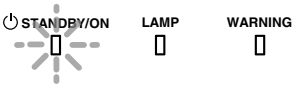


すべて消灯
映像投写のとき

「STANDBY/ON」点滅（赤）
クールダウンモードのとき



「STANDBY/ON」点滅（緑）
映像を一時的に消している（HIDEオン）とき



ランプ交換の目安表示

「LAMP」インジケーターの点灯・点滅で表示します。また、このときの本機の動作モードを示す「STANDBY/ON」インジケーターも前述のように同時に表示します。

「LAMP」点灯（橙）

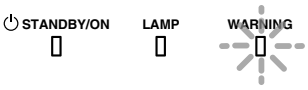
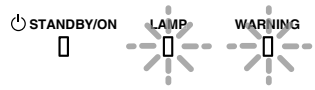
ランプ交換が近くになったとき
（ランプ使用時間が2900時間を超えたとき）

警告表示

「WARNING」と「LAMP」インジケーターの表示動作（繰り返し）で警告の内容が分かります。また、本機の動作モードを示す「STANDBY/ON」インジケーターも前述のように同時に表示します。

表示すると同時に警告モードになり、自動的に投写を中断して約 60 秒間冷却ファンを回します。

冷却中は電源の再投入はできません。冷却終了後、下記の確認を行なってください。

点灯・点滅の状態	点滅回数	内容	確認と対応
 モードの表示　（※）　（赤）	1 回	電源に異常があるとき	• 吸気口をふさぐようなものがないか確認してください。 • 外部の温度が正常か確認してください。 対応：本機をしばらくそのまま冷やしてください。その後、電源を入れてください。
	2 回	冷却ファンが異常停止したとき	
	3 回	内部の温度が異常に高いとき	
	4 回	外部の温度が高いとき	
	5 回	回路動作に異常があるとき	
 モードの表示　（橙）　（赤） 同時に点滅	1 回	回路動作に異常があるとき	
	2 回		
	3 回		
	4 回	自動スライドカバーに異常があるとき	• 自動スライドカバーに異物がないか確認してください。 対応：再度、電源を入れてください。
 モードの表示　（橙）　（赤）	1 回	ランプが点灯せずに投写できなかったとき	• ランプユニット、ランプカバーが正しく取り付けられているか確認してください。 対応：再度、電源を入れてください。
	2 回	投写中にランプが消えたとき	
	3 回	ランプカバーが外れているとき	

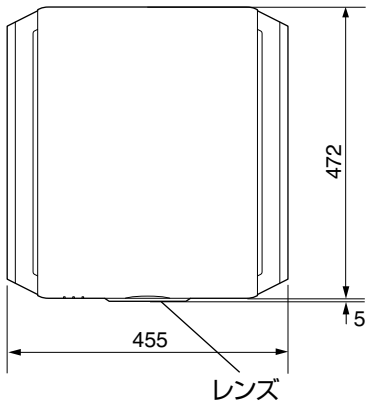
再度、警告モードになるときは、冷却ファンが停止してから電源プラグをコンセントから抜いてください。
その後、お買い上げの販売店、またはお近くのサービス窓口に修理を依頼してください。

（※）ランプ交換の目安時間を越えている場合は点灯になる事があります。

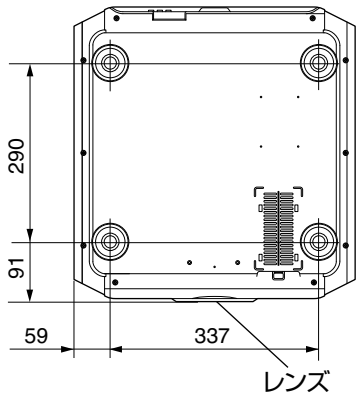
外形寸法

（単位：mm）

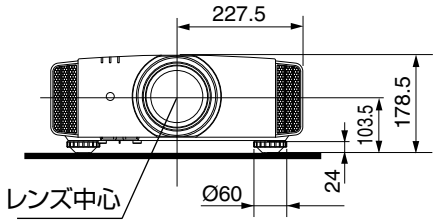
上面



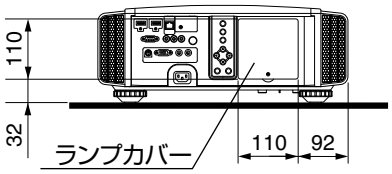
底面



前面



後面



- 図の接続端子部は、X95R X75R です。
- 寸法は全機種同一です。

索引

あ 明るさ 46
アスペクト 29
アドバンスドメニュー 47
アナモフィック 53
暗部/明部補正 40
色あい 46
色温度 45
色のこさ 46
インジケーター表示 79
映像をみる 22
エコモード 58
オフタイマー 58
主な仕様 74

か 外形寸法 81
外部制御 70
各部のなまえとはたらき 10
画質調整 45
画質の基本設定 33
画質の詳細調整 37
画質モード 33
カスタムガンマ 39
画面サイズと投写距離 75
画面マスク 50
カラープロファイル 34
カラーマネージメント 41
環境補正 27
ガンマ調整 37
クリア・モーション・ドライブ 42
警告表示 4
言語選択 57
高地モード 58
故障かな？と思ったら 65
コントラスト 46
こんな表示がされたら 67

さ サービス窓口のご案内 69
シフト 25
信号表示 60
ズーム 25
スクリーン補正 28
スライドカバー 10
接続 18
設置するときの注意 15
設置方法 15
ソフト Ver. 60

た 台形補正 53
通信端子 58
天吊り 16
投写画面の調整 24
投写距離 75
トリガー 58

は バックカラー 57
ピクチャートーン 46
歪み補正 53
表示位置 50
フィルタ交換 64
フィルタの掃除と交換のしかた 64
フィルター品番 64
フォーカス 25
付属品 3
フレームパッキング 31
フレーム補間 42
プログレッシブ 50
別売品 3
保証とアフターサービス 68
本機の特長 8

ら リモコン 13
レンズ 10
レンズアパーチャー 48
レンズカバー 3
レンズコントロール 24
レンズシフト 24
レンズメモリー 24
ロゴ表示 57

英数字

2D/3D 変換 31
3D 映像を楽しむ 30
3D 奥行き補正 32
3D クロストークキャンセル 32
3D 字幕補正 32
3D シンクロエミッター 3, 30
3D シンクロエミッターを設置する 30
3D 設定 31, 50
3D フォーマット 31
3D メガネ 3, 30
4K プロファイル 36
ANAMO. 53
C.M.D(Clear Motion Drive) 42
COLOR P.FILE 34
COMP.（コンポーネント映像） 19, 49
GAMMA 37
HDMI カラースペース 49
HDMI 入力リンク 49
HDMI 入力端子 18
HDMI 入力レベル 49

HIDE 22
LENS AP. 48
MPC LEVEL 36
NR 47
PC 19, 50
PIC. ADJ. 46
RGB 19, 49
RS-232C 20
Side by Side 31
THX 9
Top and Bottom 31

DLA-X95R
DLA-X75R
DLA-X55R
D-ILA ホームシアタープロジェクター

製品についてのご相談や修理のご依頼は

お買い上げの販売店にご相談ください。

転居されたり、贈答品などでお困りの場合は

下記のご相談窓口にご相談ください。

ご相談窓口におけるお客様の個人情報の取り扱いについては68ページをご覧ください。

修理に関するご相談	お買い物情報や全般的なご相談
ビクターサービスエンジニアリング株式会社 69ページをご覧ください。	フリーダイヤル JVCケンウッドカスタマーサポートセンター 0120 − 2727 − 87 携帯電話・PHS・一部のIP電話・FAXなどからのご利用は 電話　(045) 450 − 8950 FAX　(045) 450 − 2308

ホームページ　www3.jvckenwood.com

株式会社 JVCケンウッド

〒221-0022　神奈川県横浜市神奈川区守屋町三丁目12番地

日本ビクター、ケンウッド、J&Kカーエレクトロニクス、
JVCケンウッドの4社は合併し、株式会社JVCケンウッド
になりました。

© 2012 JVCKENWOOD Corporation

0912SIB-SW-X